

第2章 生活意識【問6】

【全体の状況】

県民の様々な生活意識を把握するために、30項目を提示して「そう思う」と「そう思わない」で尋ねた。

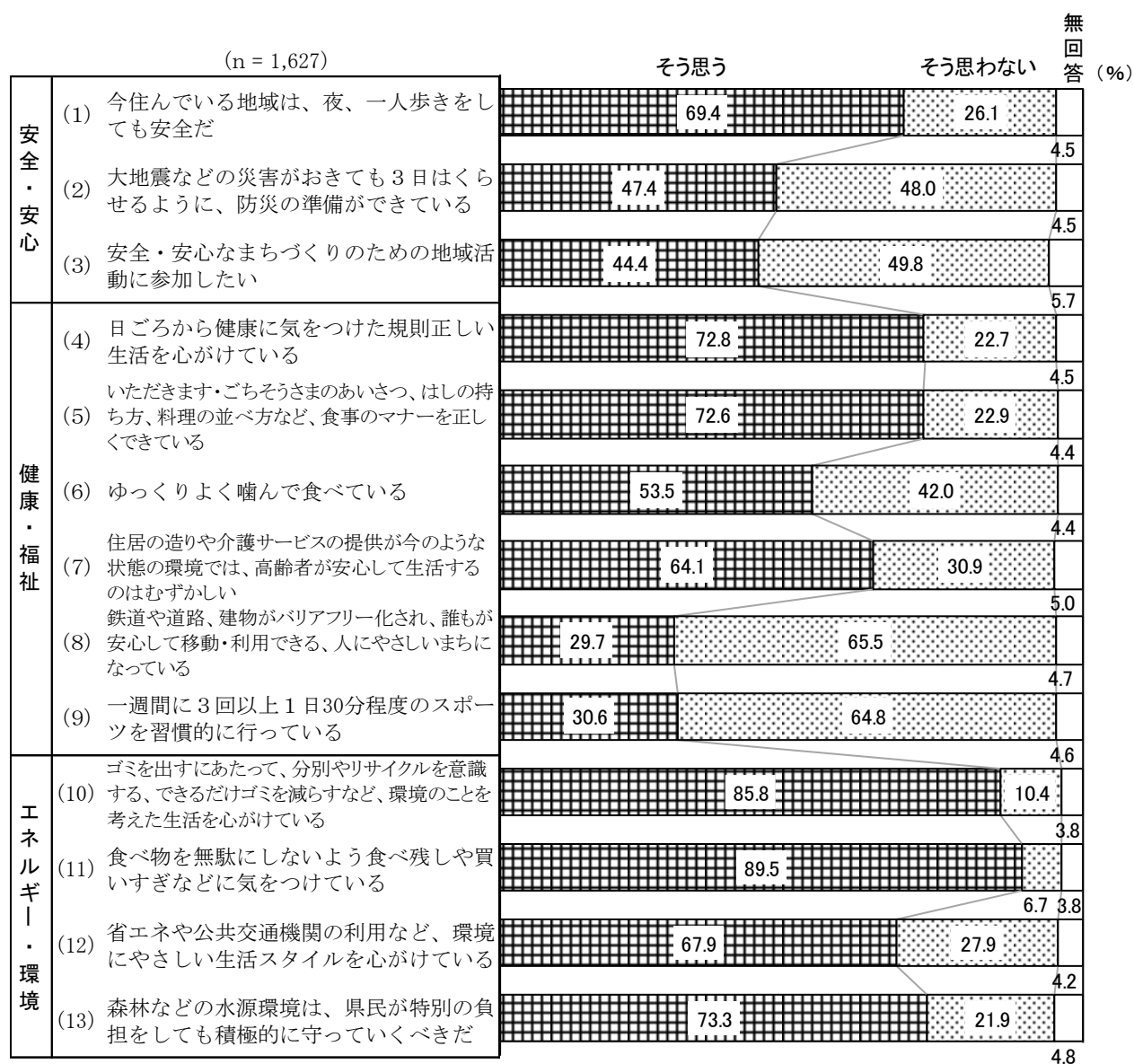
「そう思う」では、「(22) 育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ」が89.9%で最も多く、次いで「(11) 食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気をつけている」が89.5%であった。

以下、「(27) 神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ」(86.2%)、「(10) ゴミを出すにあたって、分別やリサイクルを意識する、できるだけゴミを減らすなど、環境のことを考えた生活を心がけている」(85.8%)、「(26) 県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい」(83.6%)が続いた。

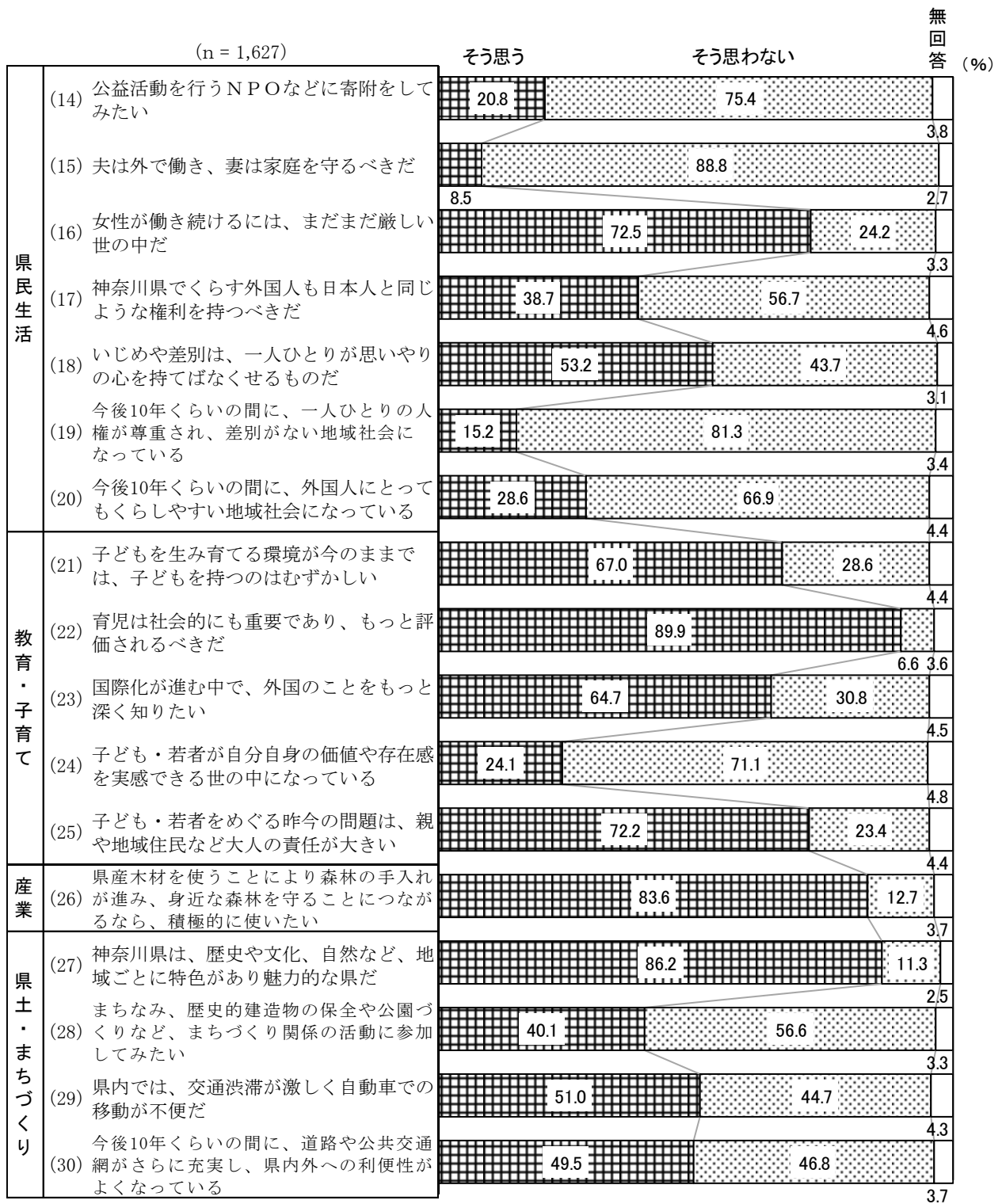
「そう思わない」では、「(15) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」が88.8%で最も多かった。

(図表2)

図表 2 生活意識



図表2 生活意識（つづき）



【過去との比較】

「そう思う」の上位10項目について過去の調査と比較すると、前回調査と同様に「(22) 育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ」が第1位、新規項目の「(11) 食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気をつけている」が第2位、「(27) 神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ」が前回調査と同様に第3位となった。(図表2(1))

図表2(1) 生活意識「そう思う」の上位10項目—過去との比較

	令和3年度 (n = 1,503)	令和4年度 (n = 1,404)	令和5年度 (n = 1,241)	令和6年度 (n = 1,206)	令和7年度 (n = 1,627)
1位	環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている (93.5%)	環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている (93.7%)	ゴミを出すにあたって、分別やリサイクルを意識する、できるだけゴミを減らすなど、環境のことを考えた生活を心がけている (89.4%)	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (89.8%)	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (89.9%)
2位	介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (92.2%)	介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (92.3%)	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (86.4%)	ゴミを出すにあたって、分別やリサイクルを意識する、できるだけゴミを減らすなど、環境のことを考えた生活を心がけている (89.1%)	食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気をつけている (89.5%)
3位	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (91.0%)	育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ (90.7%)	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ (83.7%)	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ (84.6%)	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ (86.2%)
4位	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ (84.8%)	神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ (86.8%)	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい (82.1%)	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい (82.9%)	ゴミを出すにあたって、分別やリサイクルを意識する、できるだけゴミを減らすなど、環境のことを考えた生活を心がけている (85.8%)
5位	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい (83.6%)	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい (86.4%)	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ (77.3%)	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ (77.1%)	県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、身近な森林を守ることにつながるなら、積極的に使いたい (83.6%)
6位	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ (76.4%)	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ (78.6%)	日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている (75.0%)	日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている (76.5%)	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ (73.3%)
7位	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ (74.7%)	県内には、世界に発信できる魅力ある観光資源がある (74.3%)	県内には、世界に発信できる魅力ある観光資源がある (74.5%)	子ども・若者をめぐる昨今問題は、親や地域住民など大人の責任が大きい (71.6%)	日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている (72.8%)
8位	日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている (73.4%)	日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている (74.1%)	若者の「ひきこもり」など、青少年が自分自身の価値や存在感を実感しにくい世の中になっている (72.4%)	省エネや公共交通機関の利用など、環境にやさしい生活スタイルを心がけている (71.5%)	いただきます・ごちそうさまのあいさつ、はしの持ち方、料理の並べ方など、食事のマナーを正しくできている (72.6%)
9位	住居の造りや介護サービスの提供が今のような状態の環境では、高齢者が安心して生活するのは難しい (71.3%)	若者の「ひきこもり」など、青少年が自分自身の価値や存在感を実感しにくい世の中になっている (73.8%)	省エネや公共交通機関の利用など、環境にやさしい生活スタイルを心がけている (72.1%)	今住んでいる地域は、夜、一人歩きをしても安全だ	女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ (72.5%)
10位	国際化が進む中で、外国のことをもっと深く知りたい (71.3%)	国際化が進む中で、外国のことをもっと深く知りたい (73.2%)	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ (70.4%)	森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ (69.3%)	子ども・若者をめぐる昨今問題は、親や地域住民など大人の責任が大きい (72.2%)

※「環境のことを考えて、ゴミの分別やリサイクルなどを心がけている」、「介護は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ」は令和5年度より削除
「ゴミを出すにあたって、分別やリサイクルを意識する、できるだけゴミを減らすなど、環境のことを考えた生活を心がけている」、「省エネや公共交通機関の利用など、環境にやさしい生活スタイルを心がけている」は令和5年度より追加
「県内には、世界に発信できる魅力ある観光資源がある」、「若者の『ひきこもり』など、青少年が自分自身の価値や存在感を実感しにくい世の中になっている」は令和6年度より削除
「子ども・若者をめぐる昨今問題は、親や地域住民など大人の責任が大きい」は令和6年度より追加
「いただきます・ごちそうさまのあいさつ、はしの持ち方、料理の並べ方など、食事のマナーを正しくできている」、「食べ物を無駄にしないよう食べ残しや買いすぎなどに気をつけている」は令和7年度より追加

「そう思わない」の上位10項目について過去の調査と比較すると、前回調査と同様に「(15)夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」が第1位、「(19)今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている」が第2位、前回調査で第6位の「(14)公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい」が第3位となった。(図表2(2))

図表2(2) 生活意識「そう思わない」の上位10項目—過去との比較

	令和3年度 (n = 1,503)	令和4年度 (n = 1,404)	令和5年度 (n = 1,241)	令和6年度 (n = 1,206)	令和7年度 (n = 1,627)
1位	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (86.1%)	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (88.0%)	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (87.7%)	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (86.6%)	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ (88.8%)
2位	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている (80.7%)	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている (81.6%)	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている (80.9%)	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている (82.4%)	今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている (81.3%)
3位	今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健全な成長に責任を持つようになっている (79.5%)	今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健全な成長に責任を持つようになっている (81.5%)	今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健全な成長に責任を持つようになっている (79.9%)	今後10年くらいの間に、地域の大人が、子ども・若者の健全な成長に責任を持つようになっている (79.6%)	公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい (75.4%)
4位	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている (76.5%)	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている (75.9%)	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている (76.6%)	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている (77.8%)	子ども・若者が自分自身の価値や存在感を実感できる世の中になっている (71.1%)
5位	今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている (75.2%)	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている (75.5%)	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている (74.6%)	教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている (75.0%)	今後10年くらいの間に、外国人にとってもくらしやすい地域社会になっている (66.9%)
6位	公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい (70.6%)	公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい (71.9%)	公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい (73.9%)	公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい (72.7%)	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている (65.5%)
7位	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている (69.1%)	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている (69.5%)	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている (68.3%)	子ども・若者が自分自身の価値や存在感を実感できる世の中になっている (72.0%)	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている (64.8%)
8位	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている (68.2%)	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている (67.8%)	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている (66.1%)	鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、誰もが安心して移動・利用できる、人にやさしいまちになっている (69.7%)	神奈川県でくらす外国人も日本人と同じような権利を持つべきだ (56.7%)
9位	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている (67.3%)	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている (67.6%)	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている (63.7%)	今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている (67.0%)	まちなみ、歴史的建造物の保全や公園づくりなど、まちづくり関係の活動に参加してみたい (56.6%)
10位	今後10年くらいの間に、外国人にとってもくらしやすい地域社会になっている (65.0%)	今後10年くらいの間に、外国人にとってもくらしやすい地域社会になっている (64.0%)	今後10年くらいの間に、外国人にとってもくらしやすい地域社会になっている (63.6%)	一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを習慣的に行っている (66.2%)	安全・安心なまちづくりのための地域活動に参加したい (49.8%)

※「今後10年くらいの間に、地域の大人が、青少年の健全な成長に責任を持つようになっている」は令和6年度より削除

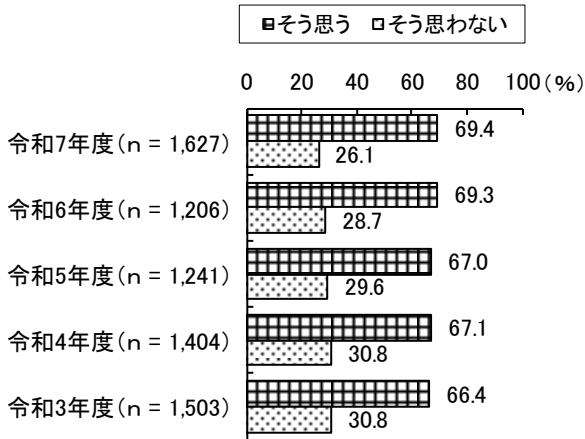
「今後10年くらいの間に、地域の大人が、子ども・若者の健全な成長に責任を持つようになっている」、

「子ども・若者が自分自身の価値や存在感を実感できる世の中になっている」は令和6年度より追加

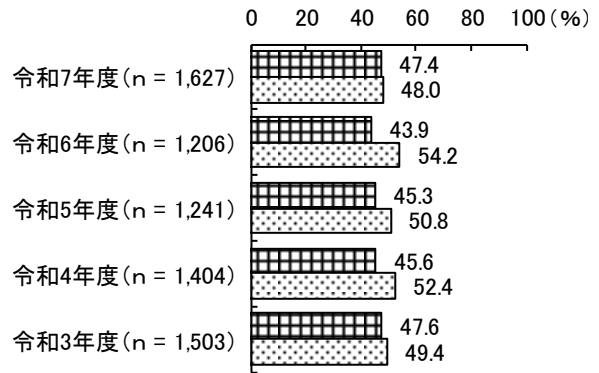
「教員の指導力が向上し、子どもたちが意欲的に学習できる環境となっている」、「今後10年くらいの間に、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者の支援を行うフリースクールやフリースペース、相談機関などが整っている」、「今後10年くらいの間に、地域の大人が、子ども・若者の健全な成長に責任を持つようになっている」、「今後10年くらいの間に、子どもたちの教育に誰もが関心を持ち、学校・家庭・地域などが連携し県民全体で進めるようになっている」は令和7年度より削除

図表 2 (3) 生活意識（過去との比較）

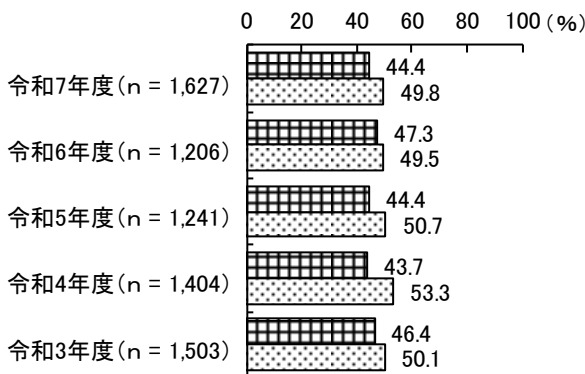
(1) 今住んでいる地域は、夜、一人歩きをしても安全だ



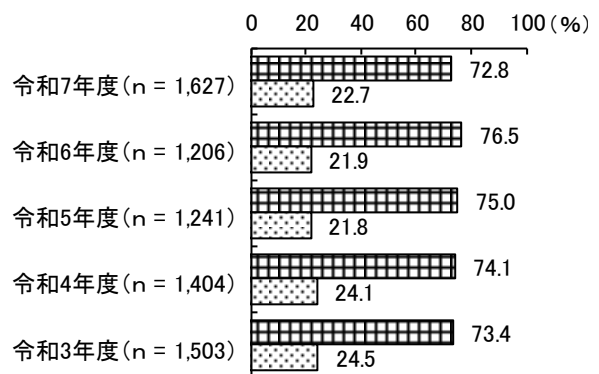
(2) 大地震などの災害がおきても3日はくらせるように、防災の準備ができている



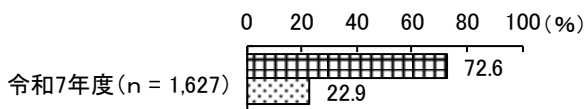
(3) 安全・安心なまちづくりのための地域活動に参加したい



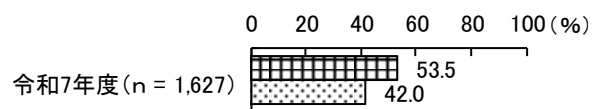
(4) 日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている



(5) いただきます・ごちそうさまのあいさつ、はしの持ち方、料理の並べ方など、食事のマナーを正しくできている



(6) ゆっくりよく噛んで食べている

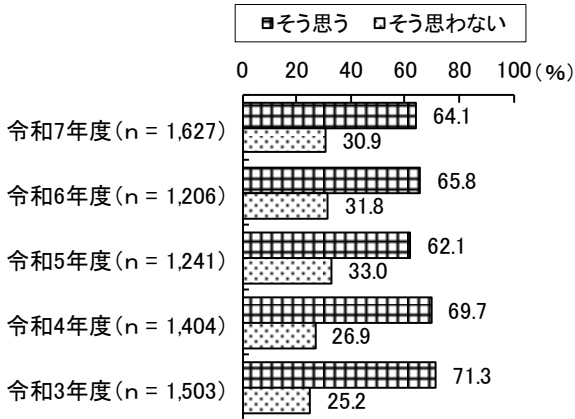


(注) 令和7年度から追加された項目である

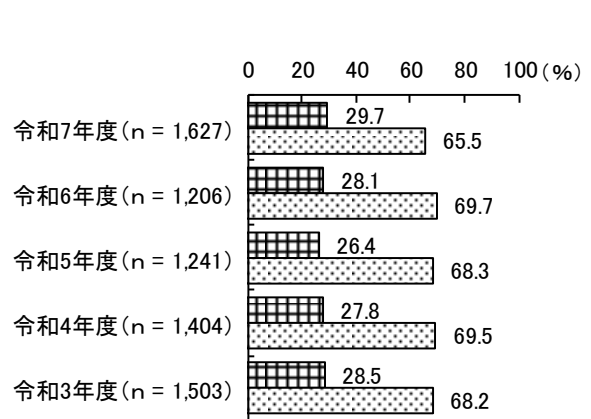
(注) 令和7年度から追加された項目である

図表 2 (3) 生活意識（過去との比較）（つづき）

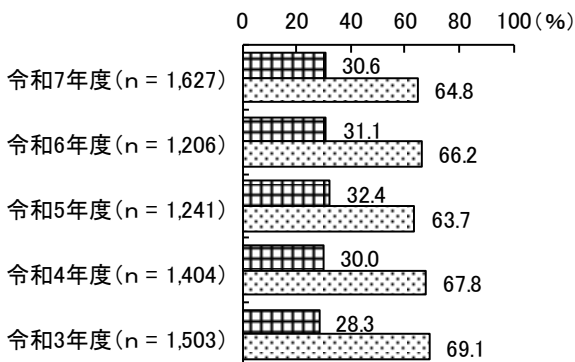
(7) 住居の造りや介護サービスの提供が
今のような状態の環境では、
高齢者が安心して生活するのはむずかしい



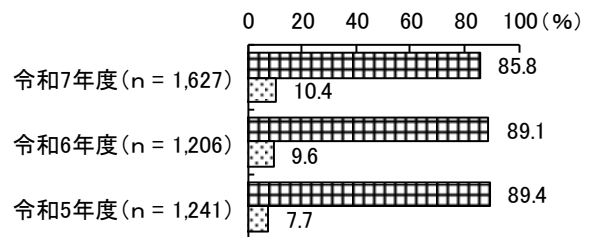
(8) 鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、
誰もが安心して移動・利用できる、
人にやさしいまちになっている



(9) 一週間に3回以上1日30分程度のスポーツを
習慣的に行っている

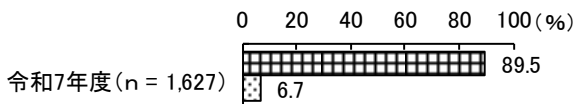


(10) ゴミを出すにあたって、分別やリサイクルを
意識する、できるだけゴミを減らすなど、
環境のことを考えた生活を心がけている



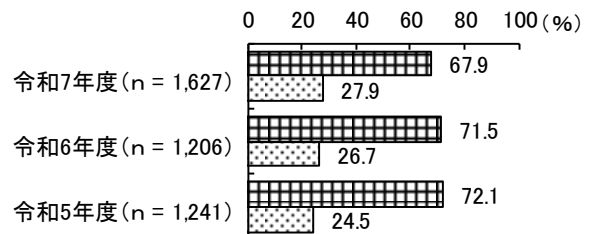
(注) 令和5年度から追加された項目である

(11) 食べ物を無駄にしないよう食べ残しや
買いすぎなどに気をつけている



(注) 令和7年度から追加された項目である

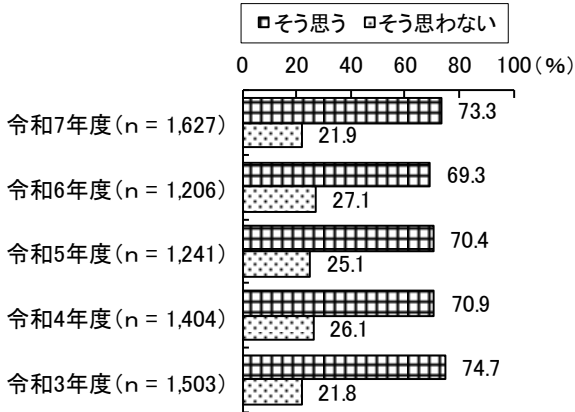
(12) 省エネや公共交通機関の利用など、
環境にやさしい生活スタイルを心がけている



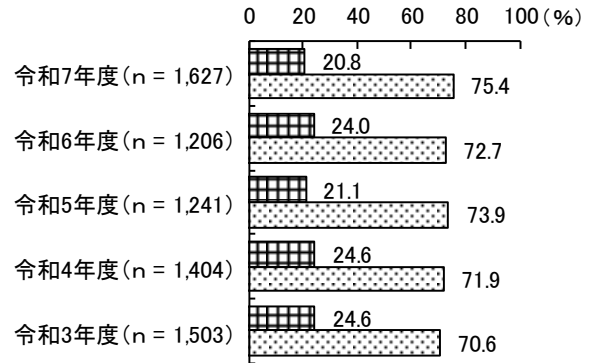
(注) 令和5年度から追加された項目である

図表 2 (3) 生活意識（過去との比較）（つづき）

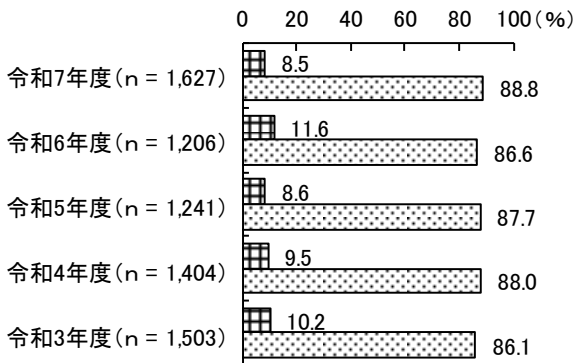
(13) 森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ



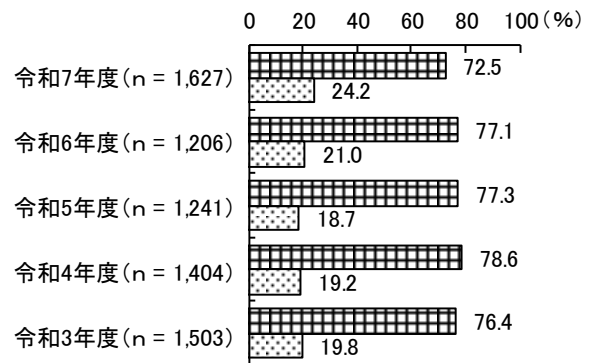
(14) 公益活動を行うNPOなどに寄附をしてみたい



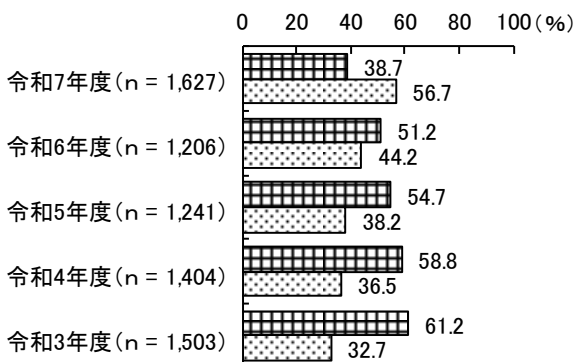
(15) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ



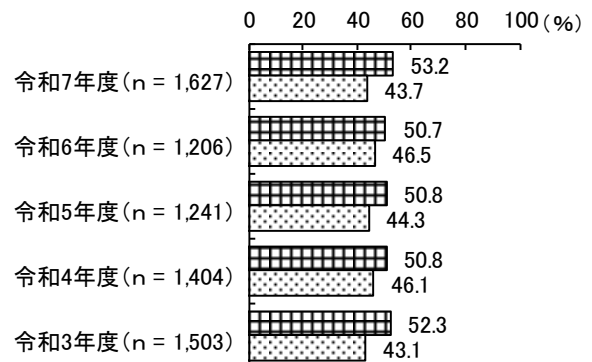
(16) 女性が働き続けるには、まだまだ厳しい世の中だ



(17) 神奈川県でくらす外国人も日本人と同じような権利を持つべきだ

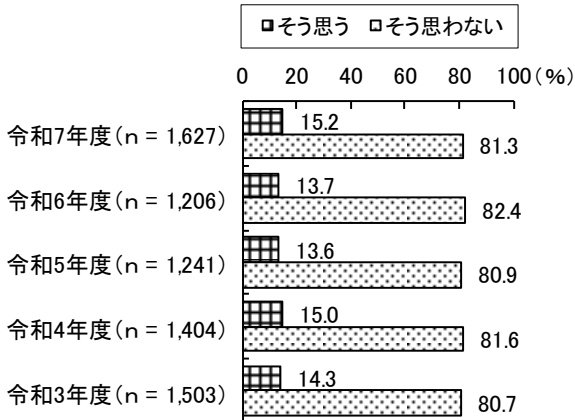


(18) いじめや差別は、一人ひとりが思いやりの心を持てばなくせるものだ

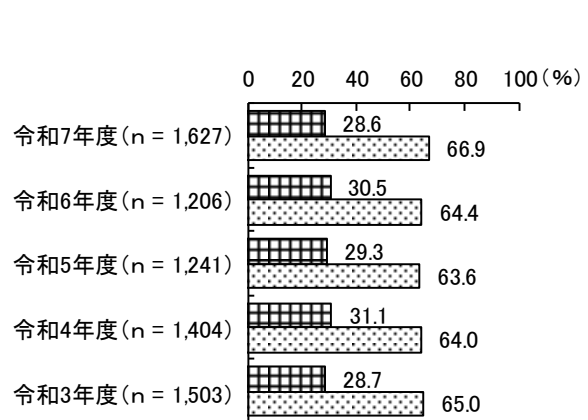


図表 2 (3) 生活意識（過去との比較）（つづき）

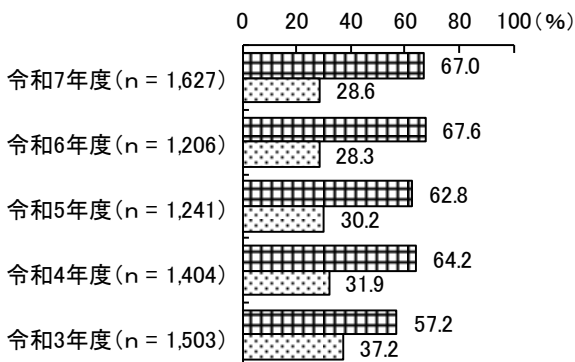
(19) 今後10年くらいの間に、一人ひとりの人権が尊重され、差別がない地域社会になっている



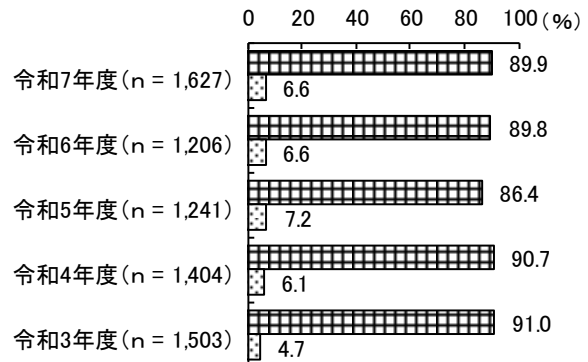
(20) 今後10年くらいの間に、外国人にとってもくらしやすい地域社会になっている



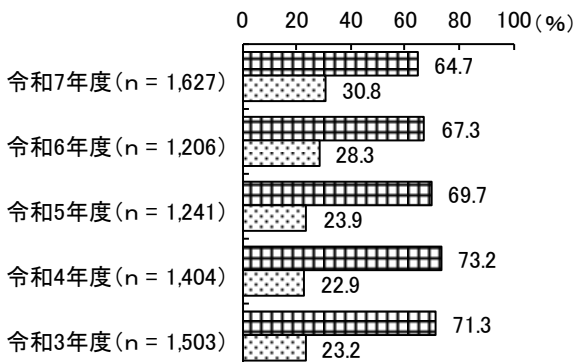
(21) 子どもを生み育てる環境が今のままでは、子どもを持つのはむずかしい



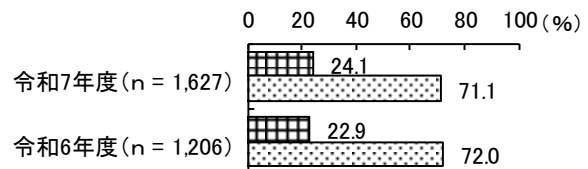
(22) 育児は社会的にも重要であり、もっと評価されるべきだ



(23) 国際化が進む中で、外国のことをもっと深く知りたい



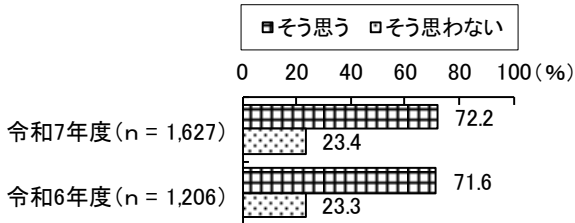
(24) 子ども・若者が自分自身の価値や存在感を実感できる世の中になっている



(注) 令和6年度から追加された項目である

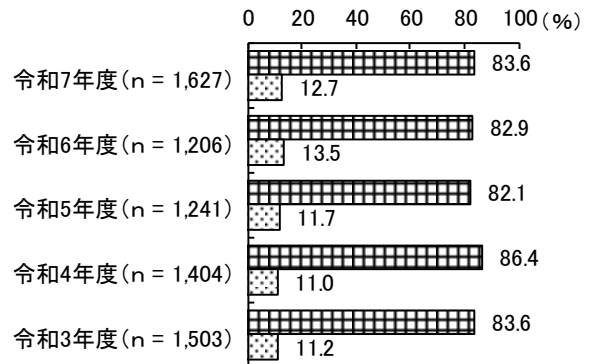
図表 2 (3) 生活意識（過去との比較）（つづき）

(25) 子ども・若者をめぐる昨今の問題は、
親や地域住民など大人の責任が大きい

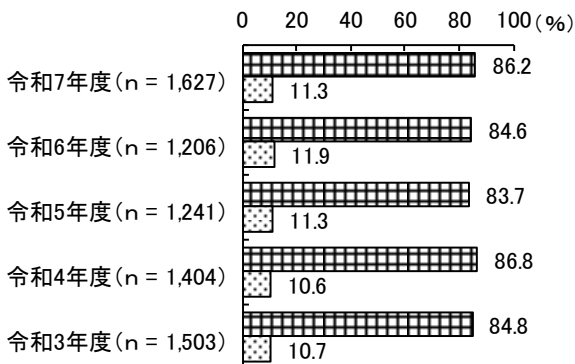


(注) 令和6年度から追加された項目である

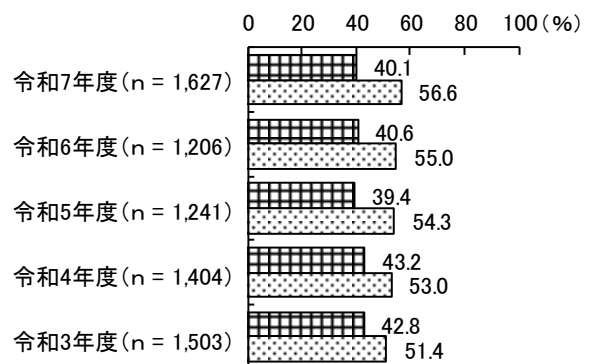
(26) 県産木材を使うことにより森林の手入れが進み、
身近な森林を守ることにつながるなら、
積極的に使いたい



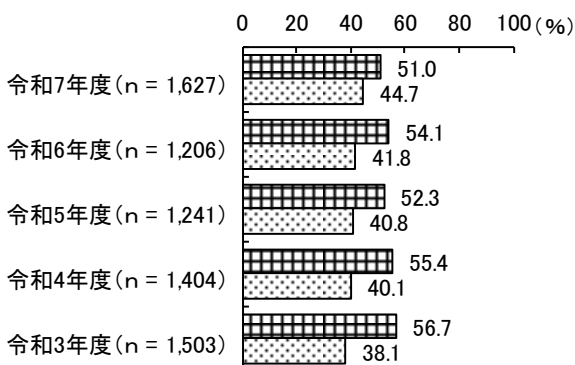
(27) 神奈川県は、歴史や文化、自然など、
地域ごとに特色があり魅力的な県だ



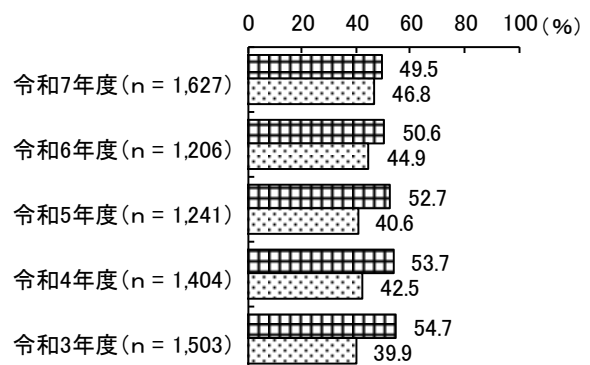
(28) まちなみ、歴史的建造物の保全や
公園づくりなど、まちづくり関係の活動に
参加してみたい



(29) 県内では、交通渋滞が激しく
自動車での移動が不便だ



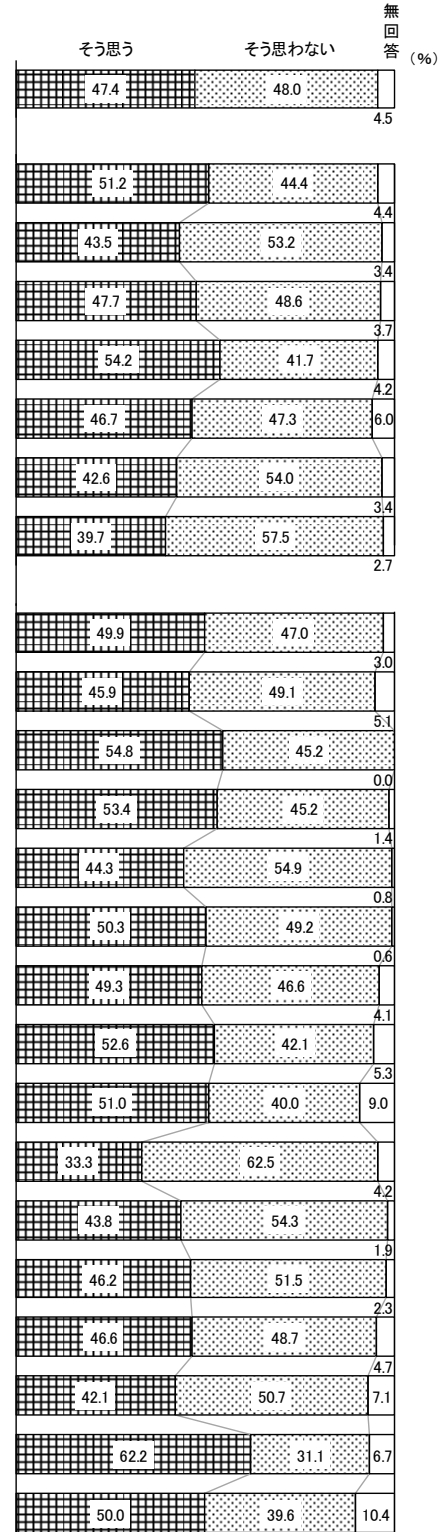
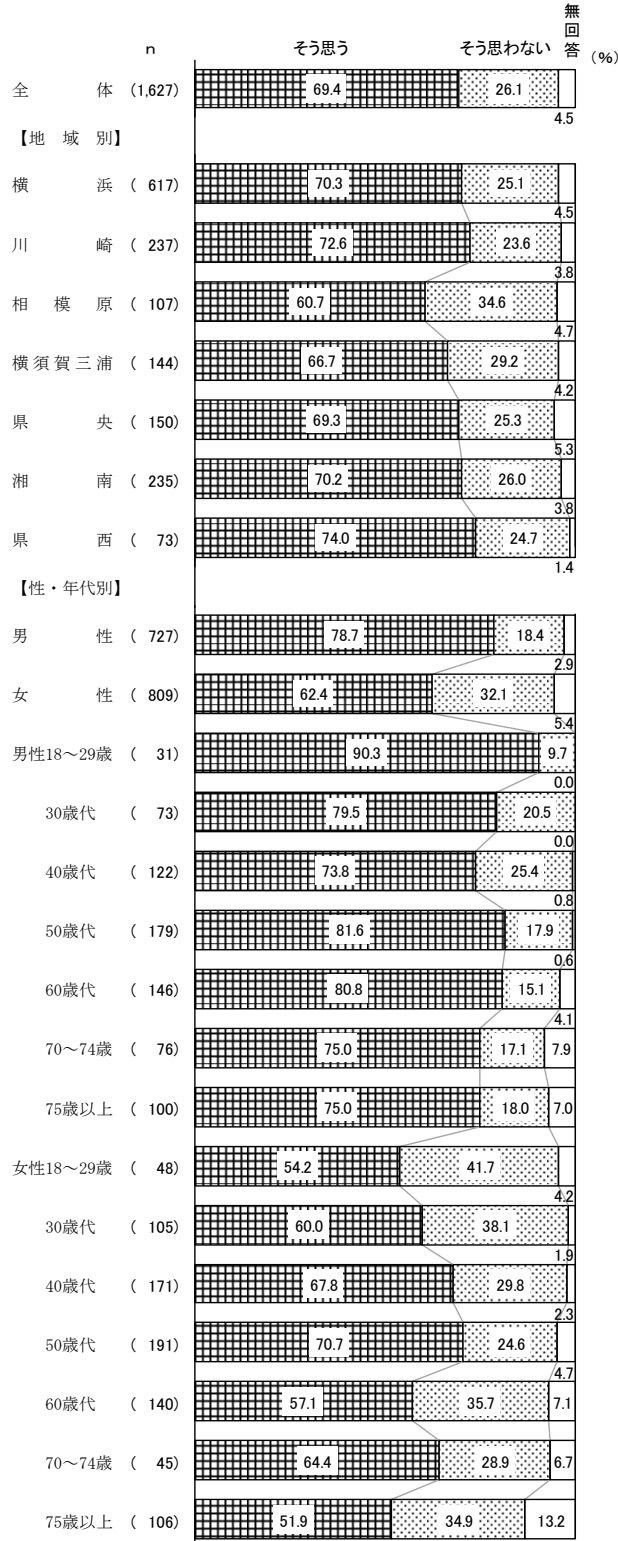
(30) 今後10年くらいの間に、道路や公共交通網が
さらに充実し、県内外への利便性がよくなって
いる



図表 2 (4) 生活意識 (地域別、性・年代別)

(1) 今住んでいる地域は、夜、一人歩きをしても安全だ

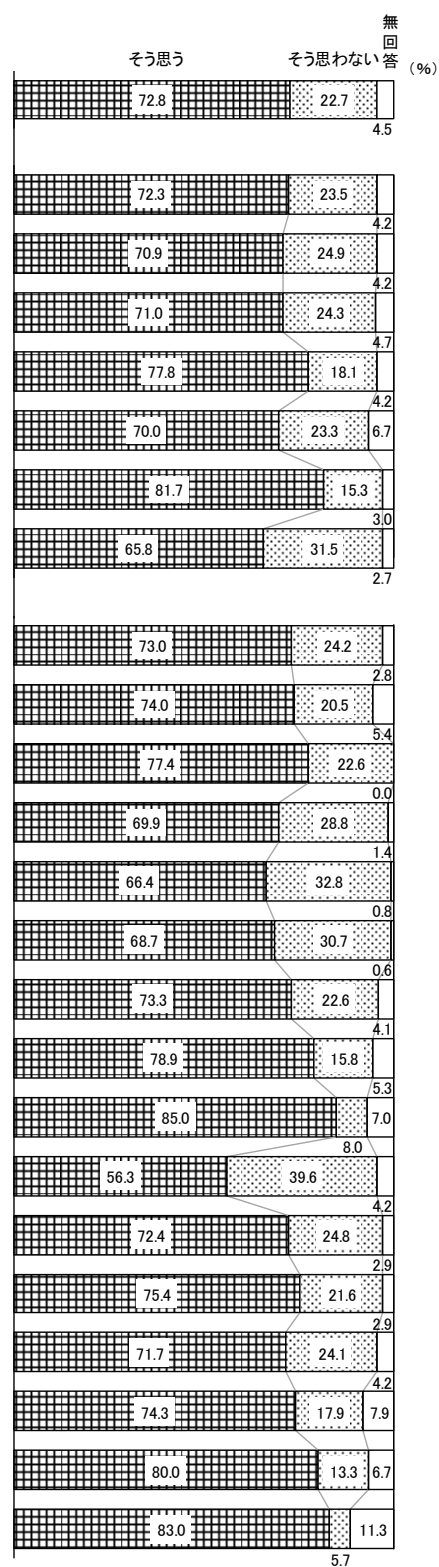
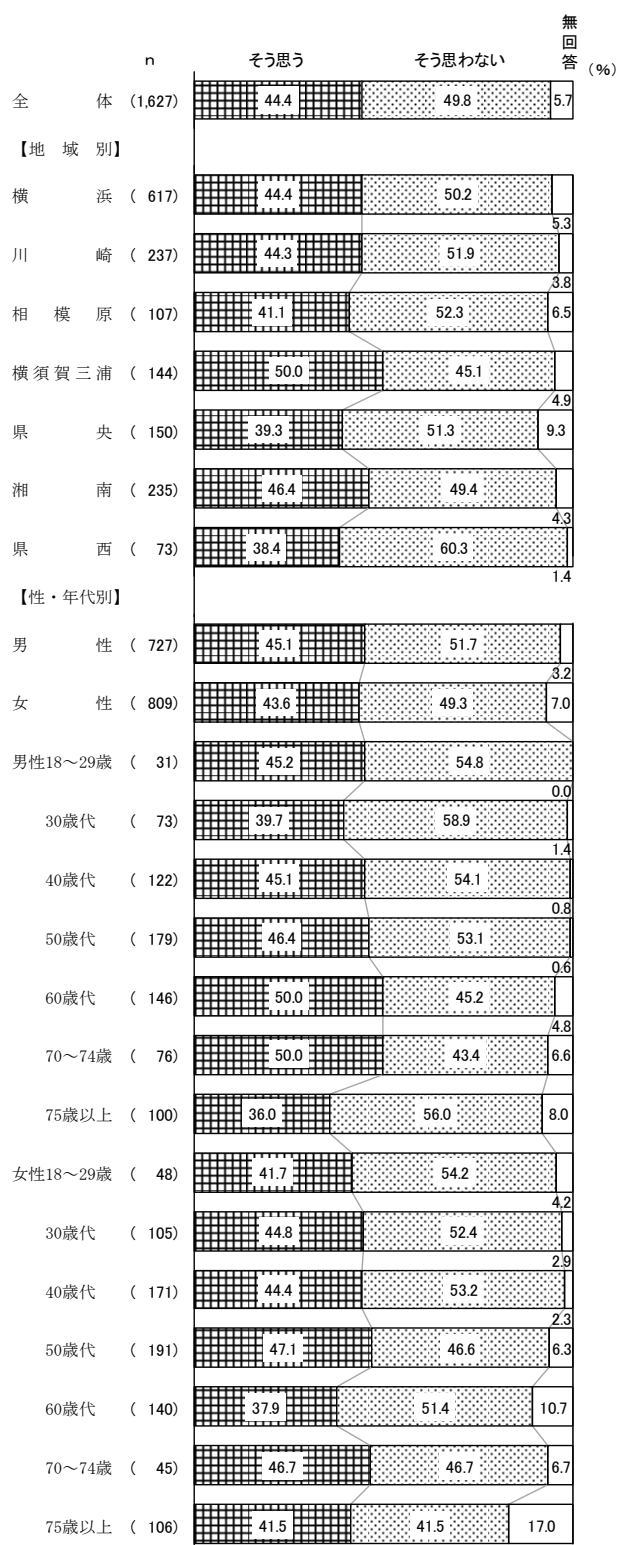
(2) 大地震などの災害がおきても3日はくらせるように、防災の準備ができている



図表 2 (4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(3) 安全・安心なまちづくりのための地域活動に参加したい

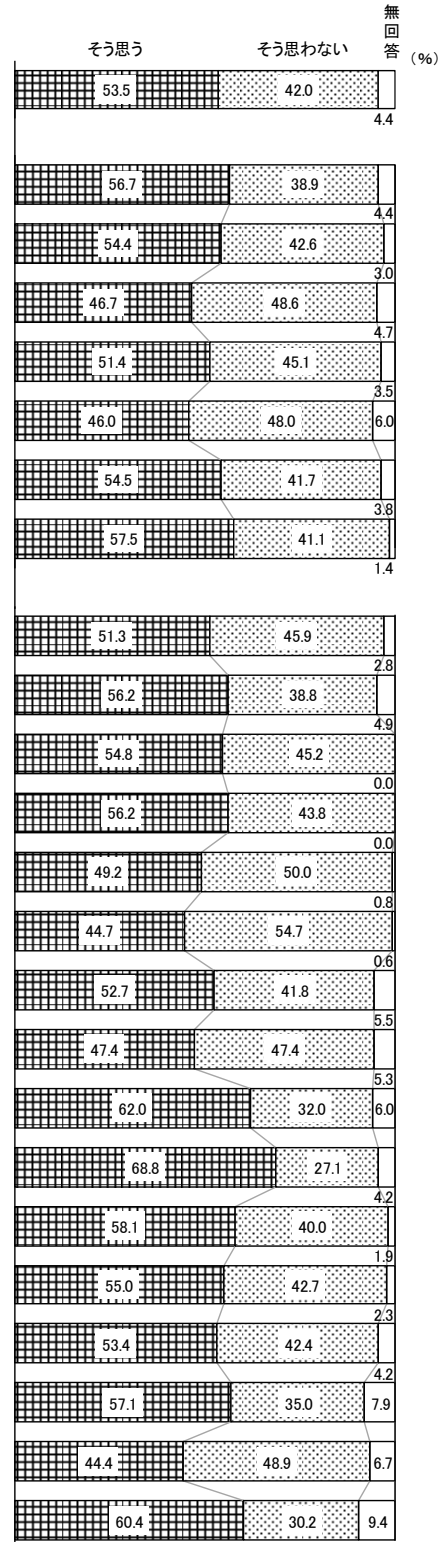
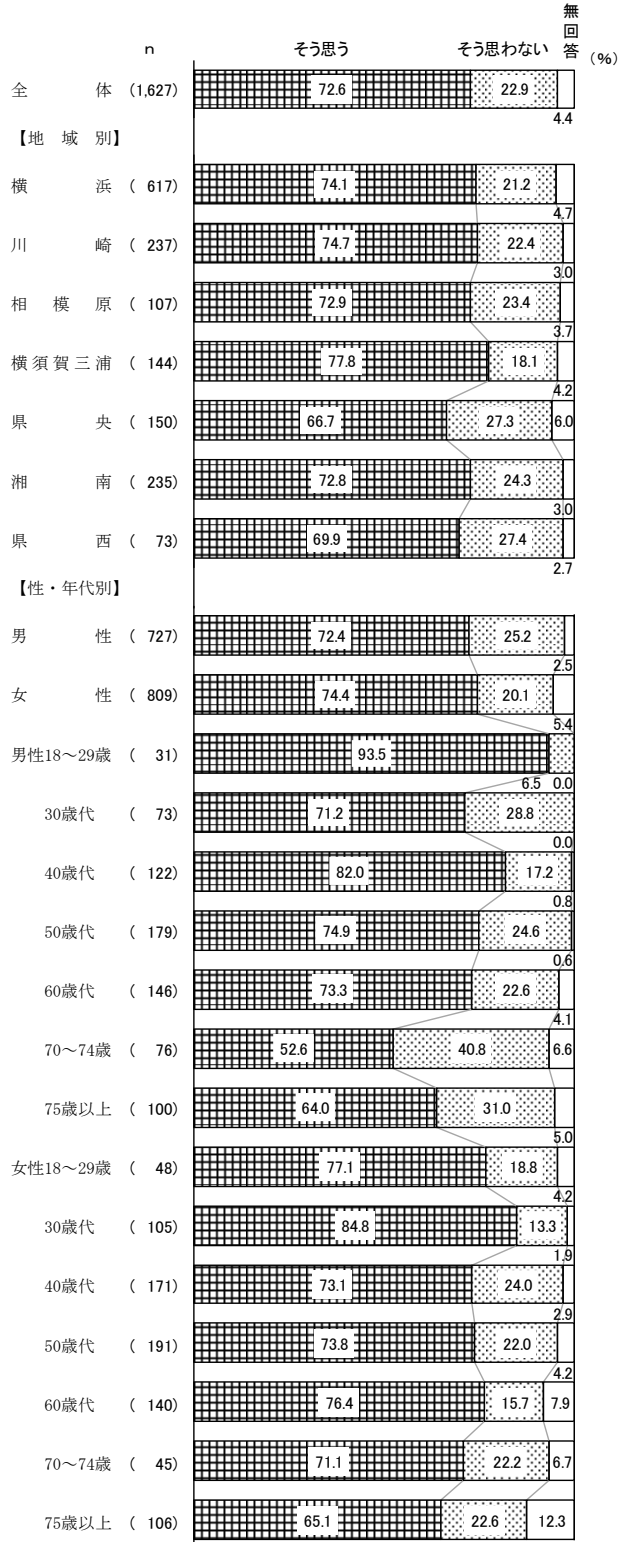
(4) 日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている



図表 2 (4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(5) いただきます・ごちそうさまのあいさつ、
はしの持ち方、料理の並べ方など、
食事のマナーを正しくできている

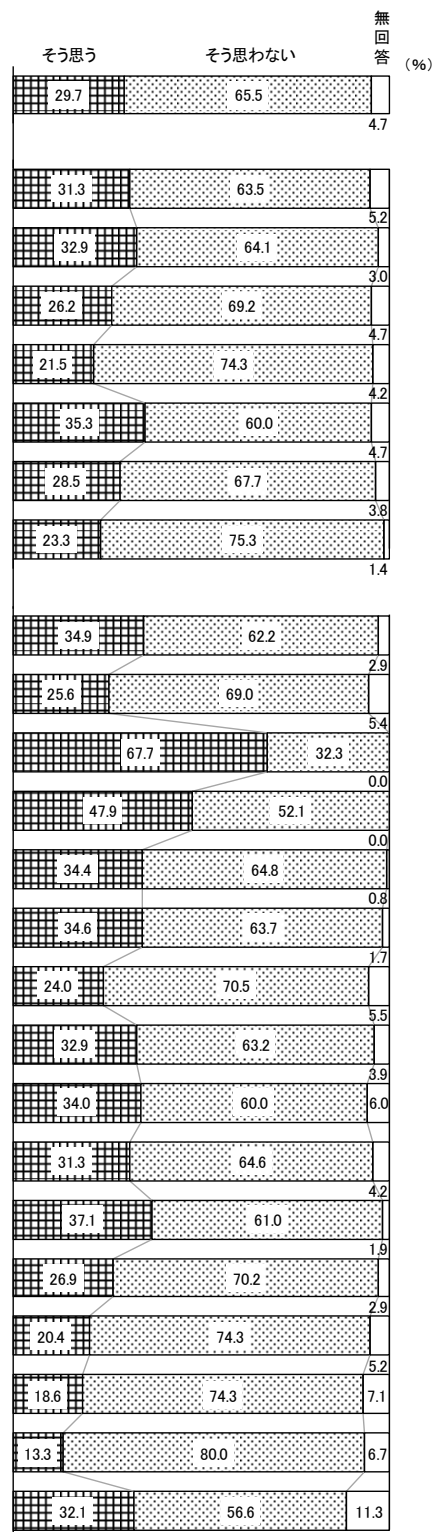
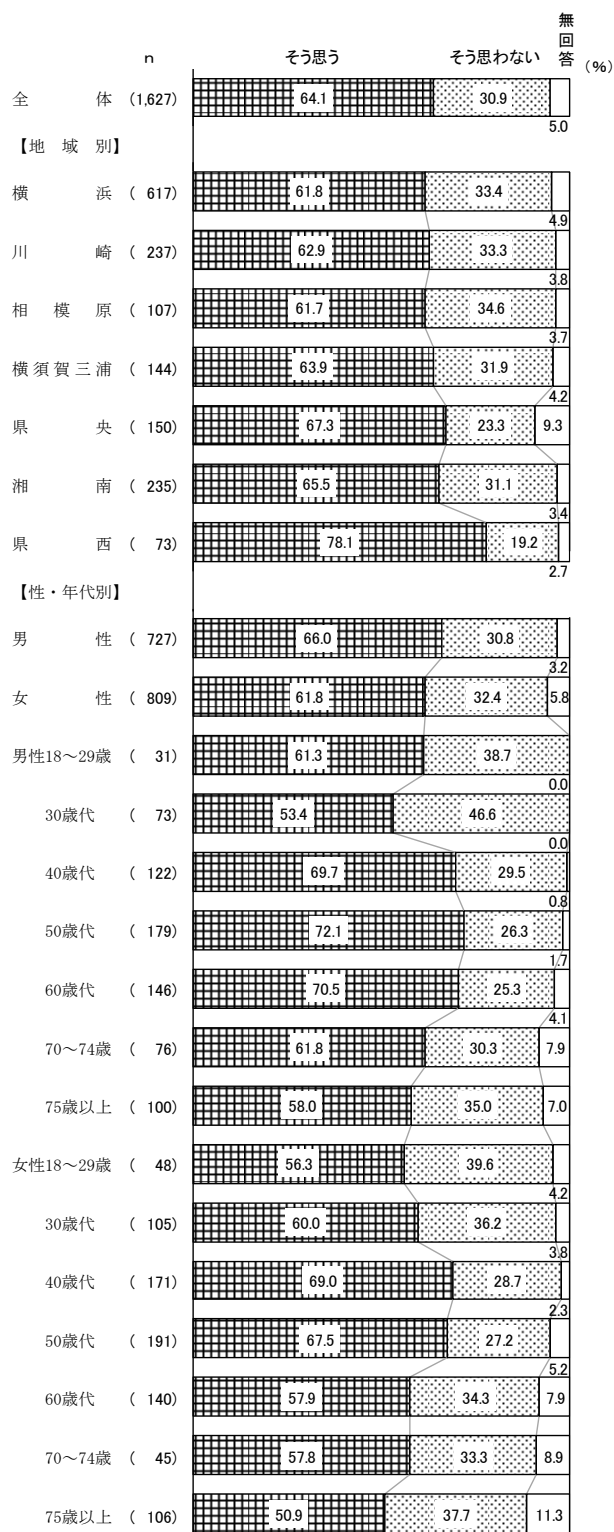
(6) ゆっくりよく噛んで食べている



図表 2 (4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

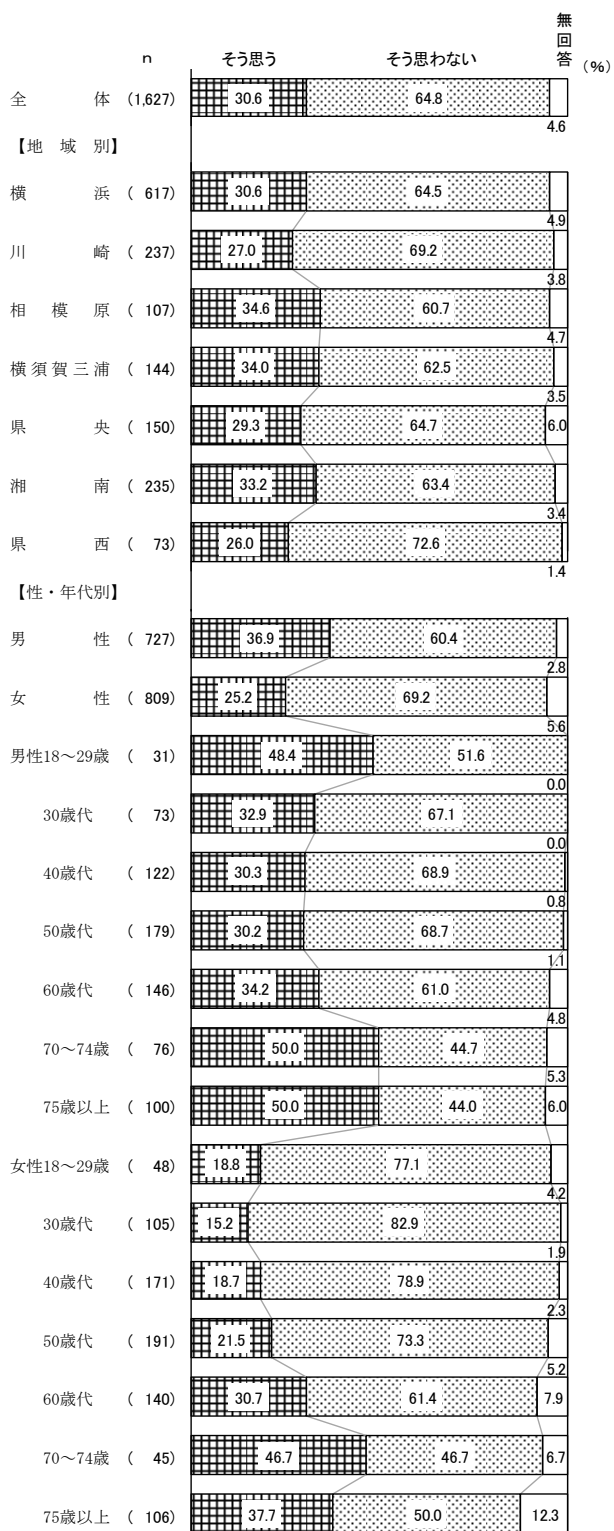
(7) 住居の造りや介護サービスの提供が
今のような状態の環境では、高齢者が
安心して生活するのはむずかしい

(8) 鉄道や道路、建物がバリアフリー化され、
誰もが安心して移動・利用できる、人に
やさしいまちになっている

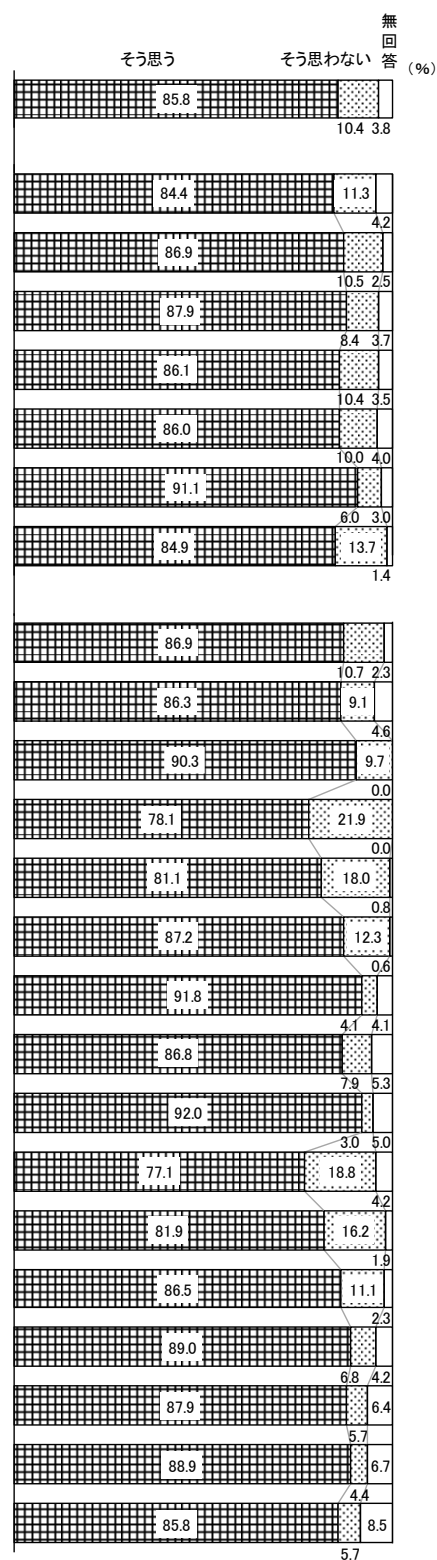


図表 2 (4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(9) 一週間に3回以上1日30分程度の
スポーツを習慣的に行っている



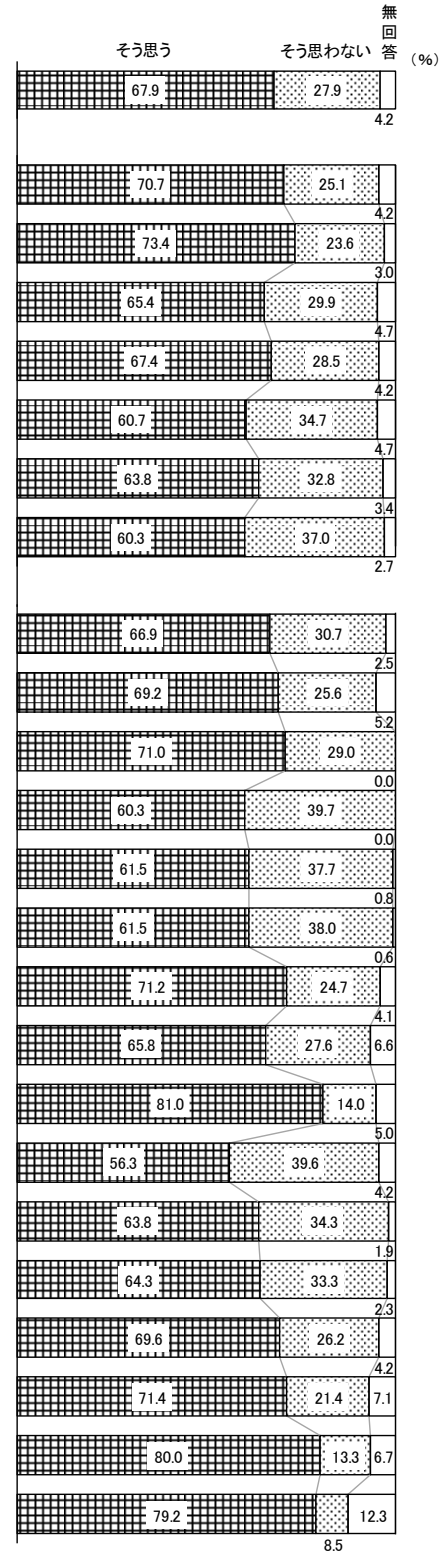
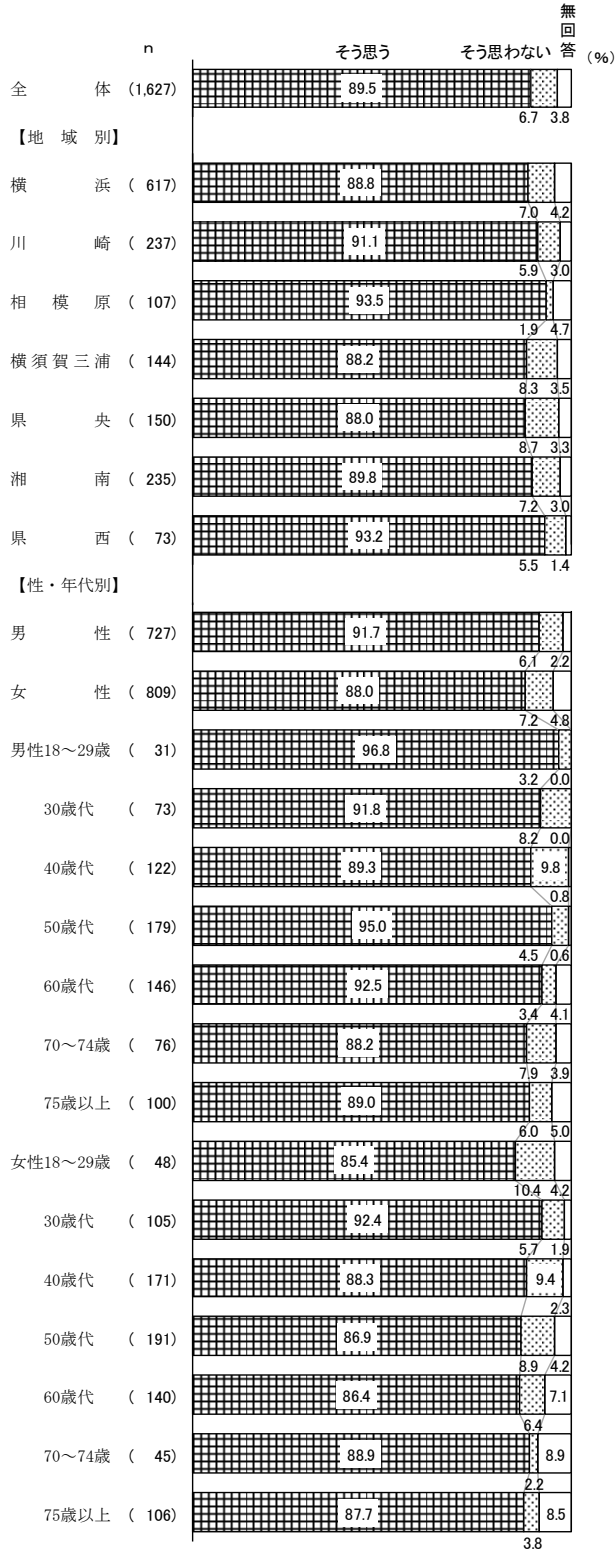
(10) ゴミを出すにあたって、分別や
リサイクルを意識する、できるだけ
ゴミを減らすなど、環境のことを考えた
生活を心がけている



図表 2 (4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(11) 食べ物を無駄にしないよう食べ残しや
買いすぎなどに気をつけている

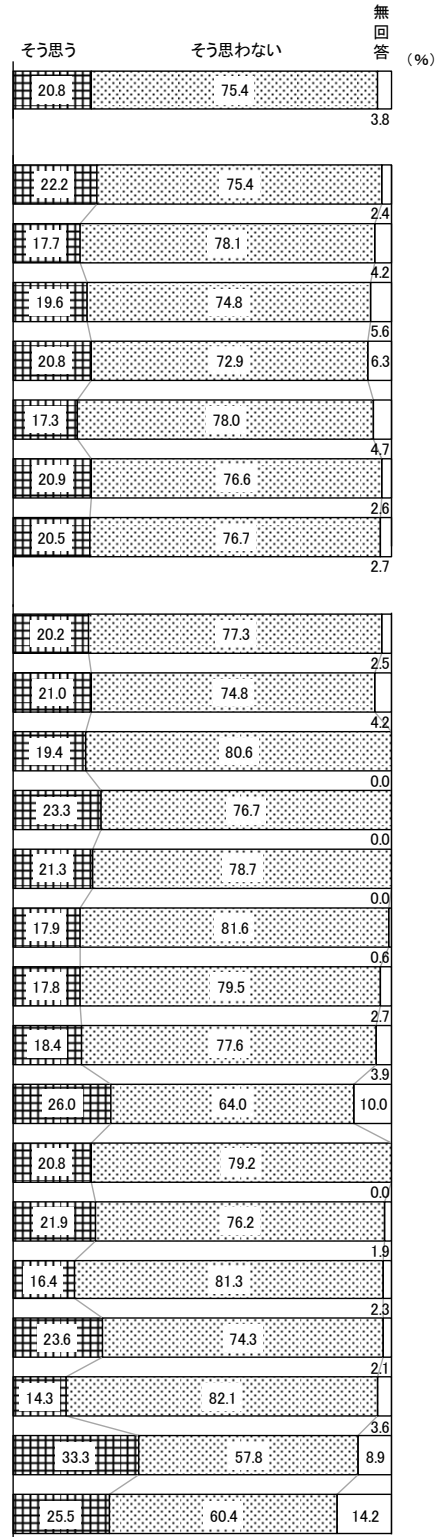
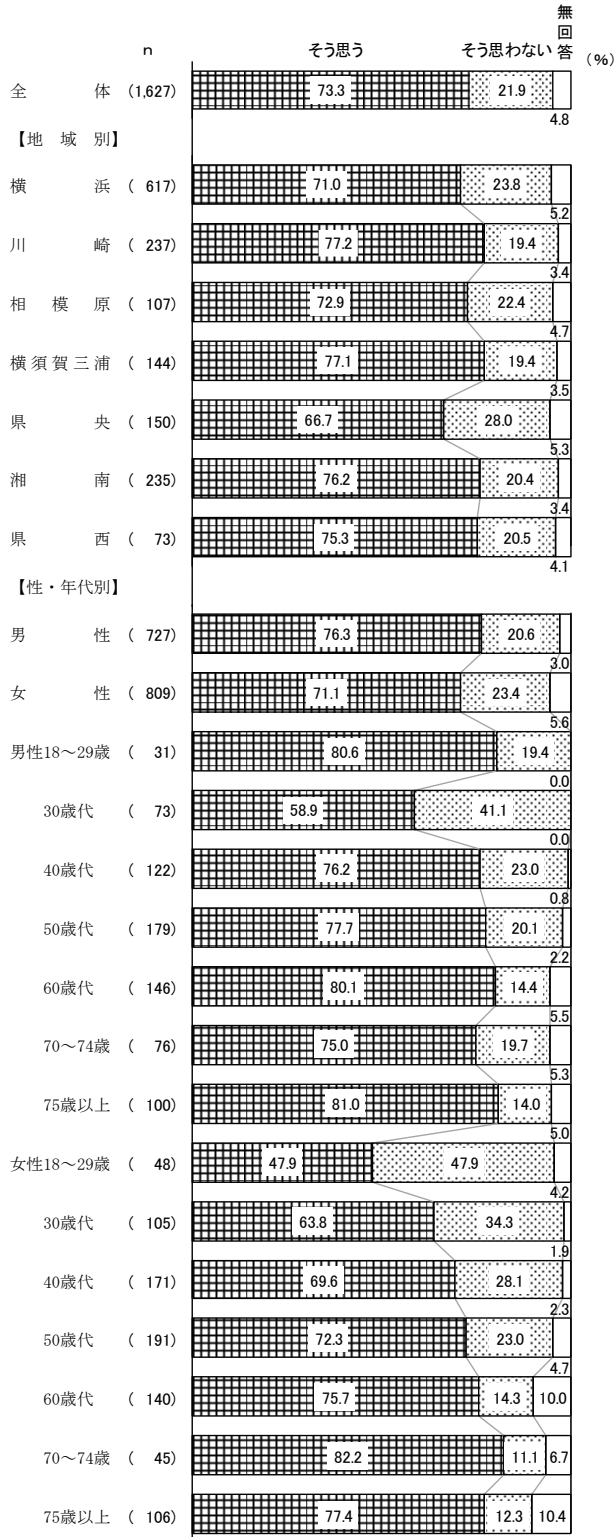
(12) 省エネや公共交通機関の利用など、環境に
やさしい生活スタイルを心がけている



図表 2 (4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(13) 森林などの水源環境は、県民が特別の負担をしても積極的に守っていくべきだ

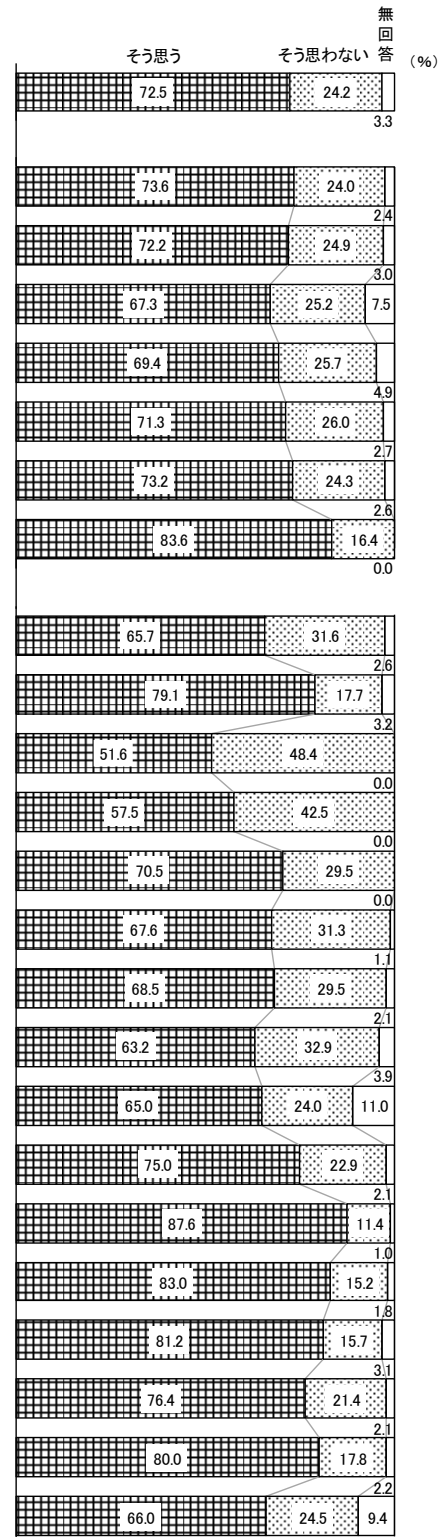
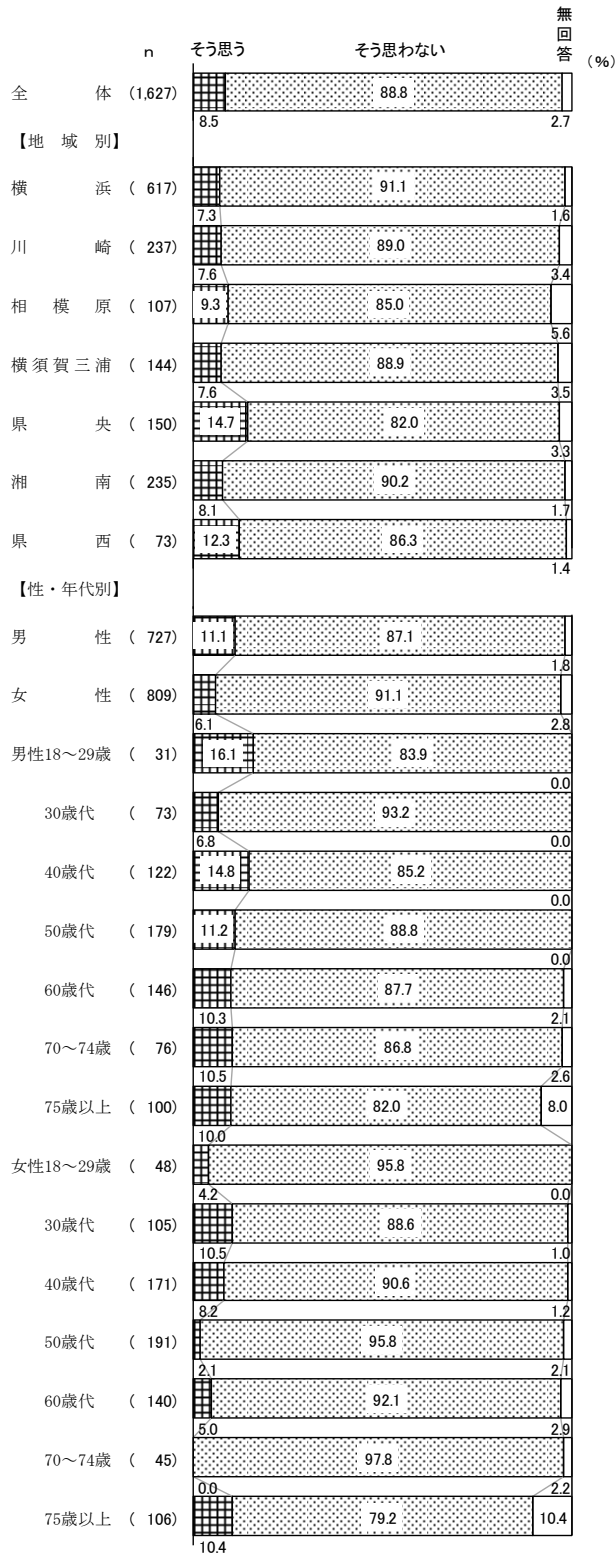
(14) 公益活動を行う N P O などに寄附をしてみたい



図表 2 (4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(15) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

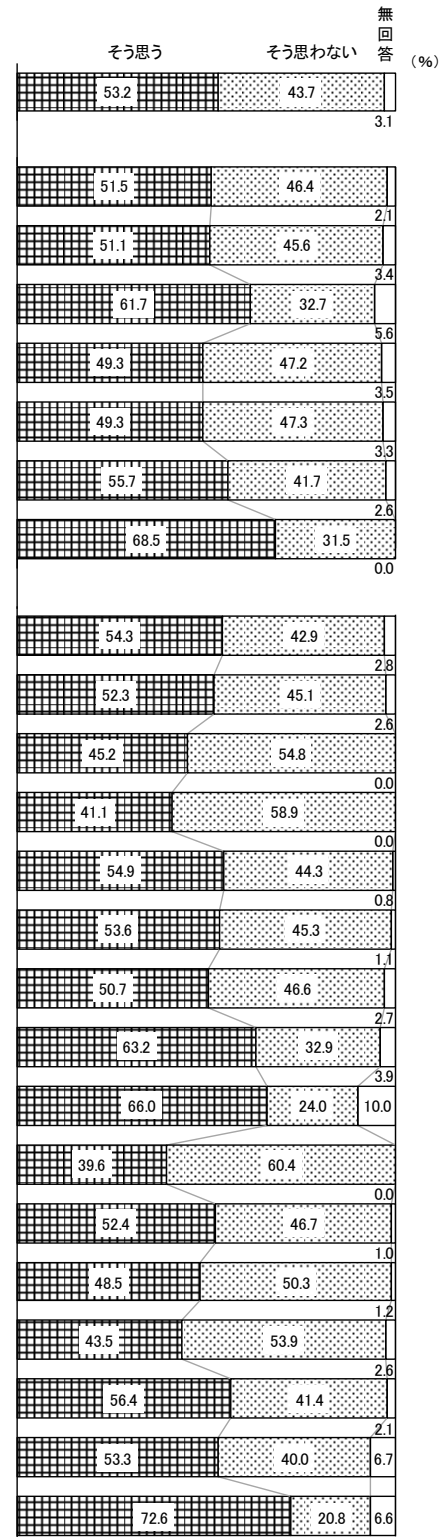
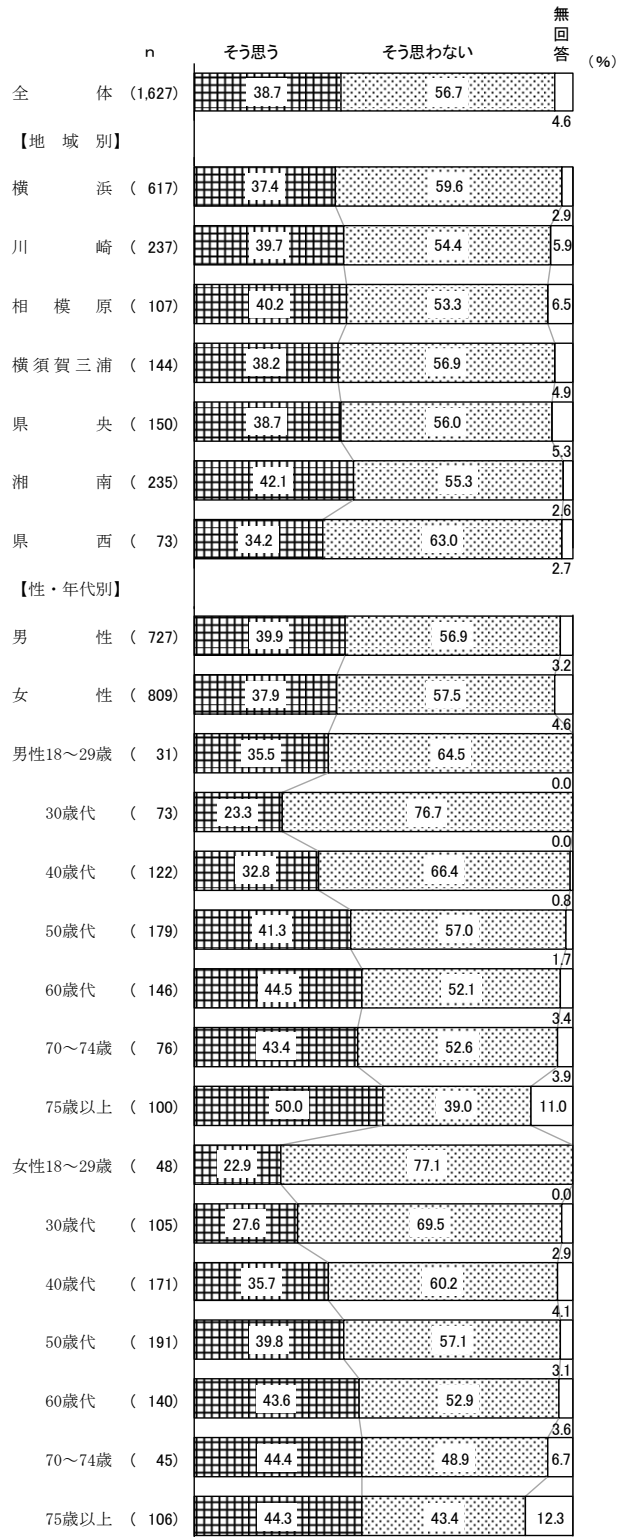
(16) 女性が働き続けるには、まだまだ
厳しい世の中だ



図表 2 (4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(17) 神奈川県でくらす外国人も日本人と同じような権利を持つべきだ

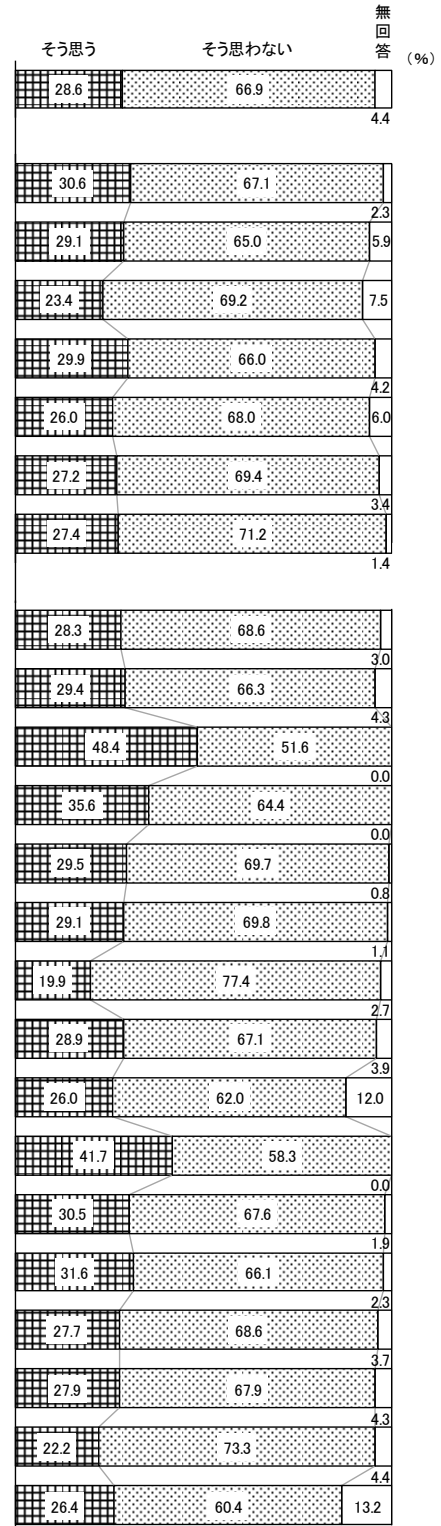
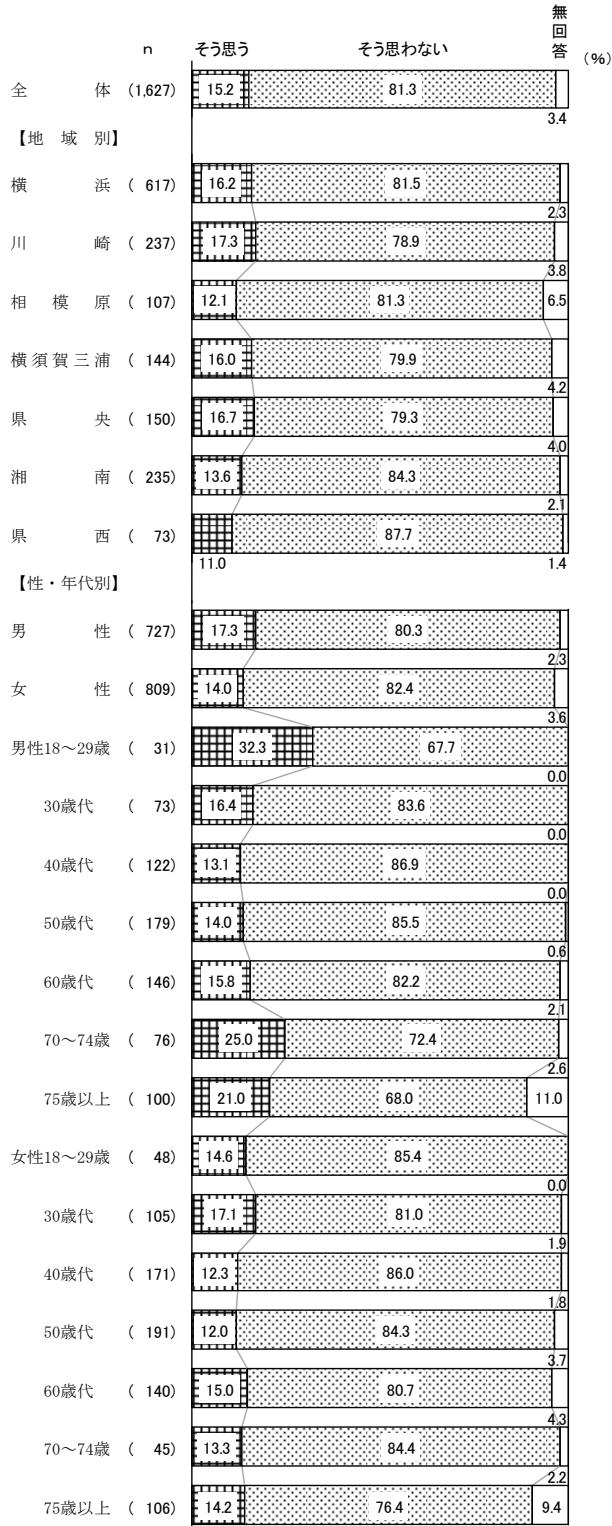
(18) いじめや差別は、一人ひとりが思いやりの心を持てばなくせるものだ



図表 2 (4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(19) 今後 10 年くらいの間に、一人ひとりの
人権が尊重され、差別がない地域社会に
なっている

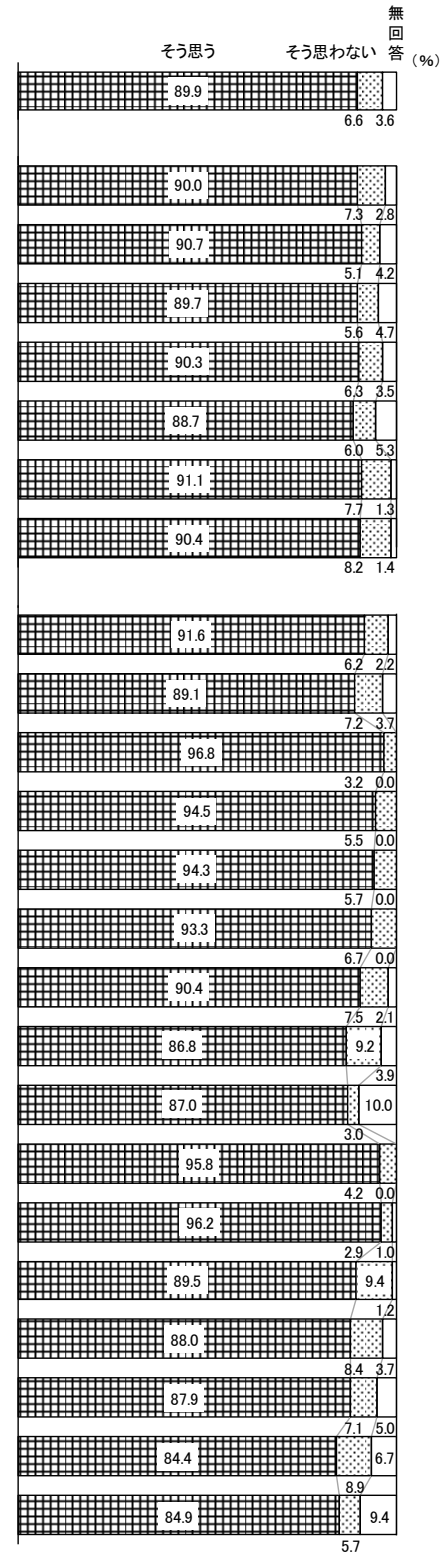
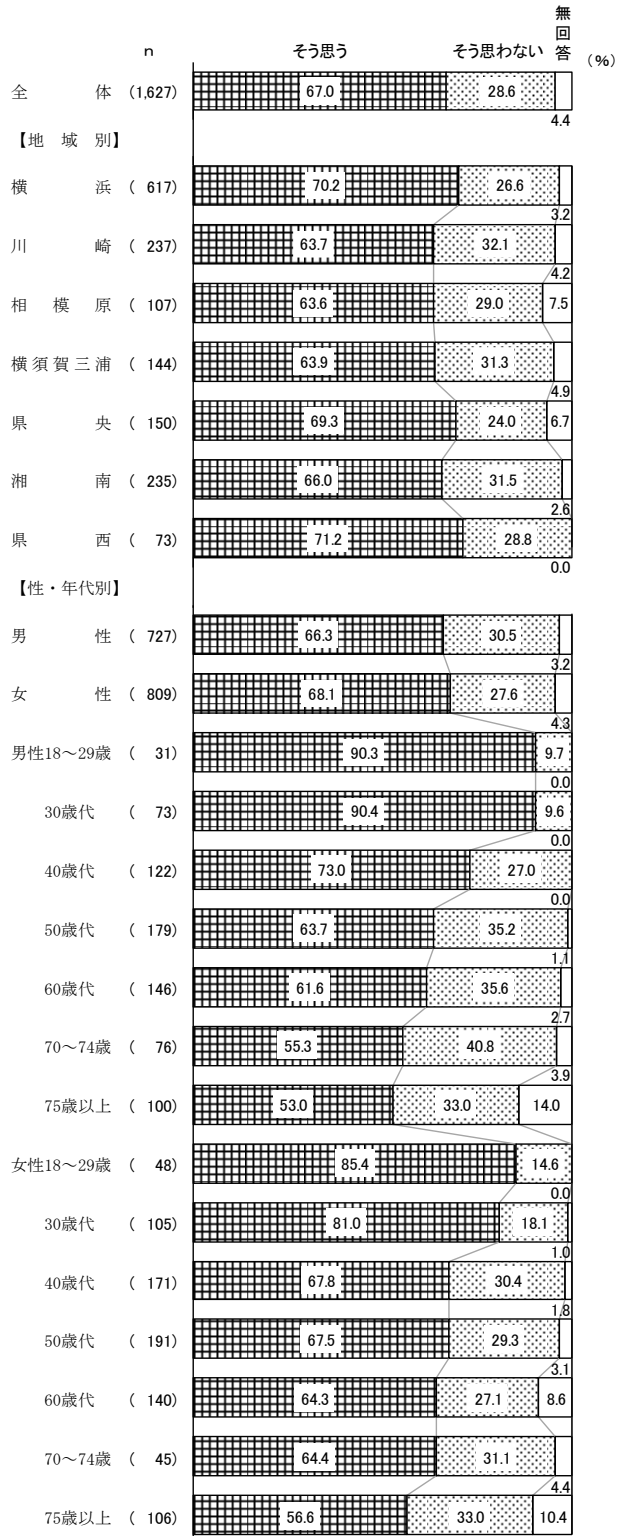
(20) 今後 10 年くらいの間に、外国人にとっても
くらしやすい地域社会になっている



図表 2 (4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

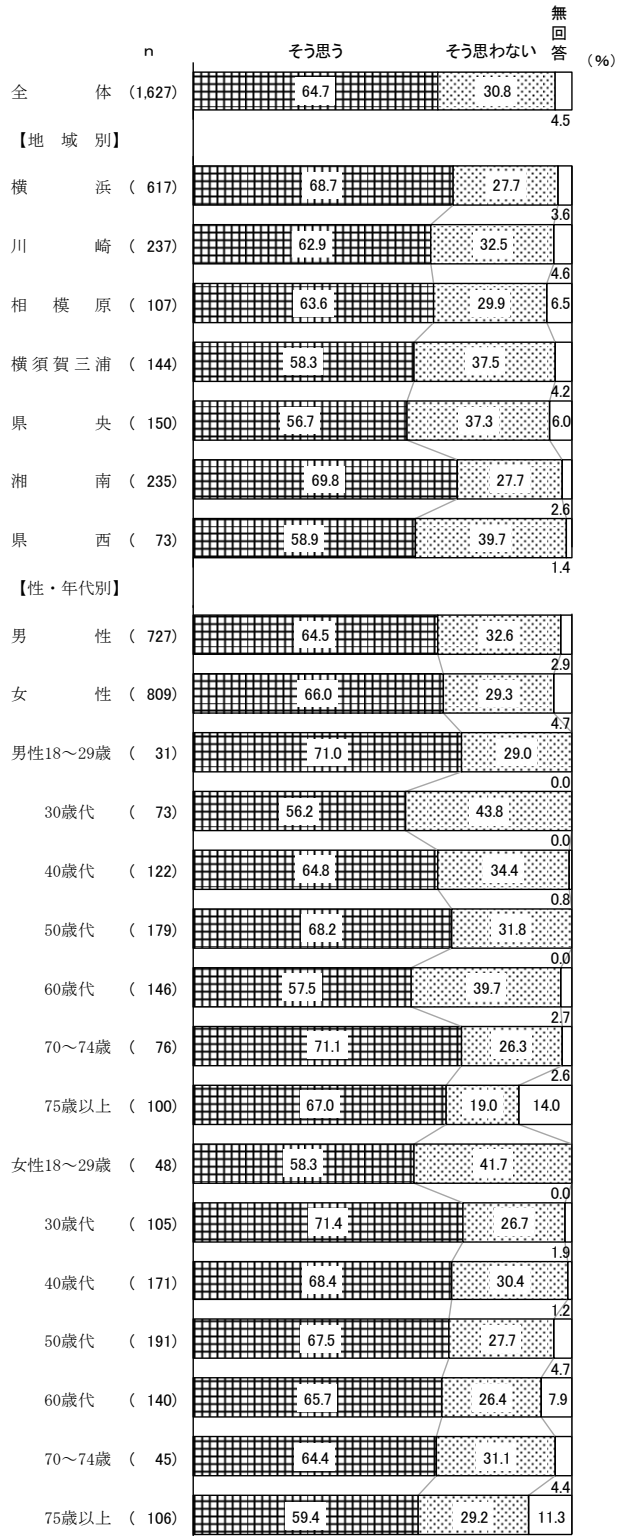
(21) 子どもを生み育てる環境が今のままでは、
子どもを持つのはむずかしい

(22) 育児は社会的にも重要であり、もっと
評価されるべきだ

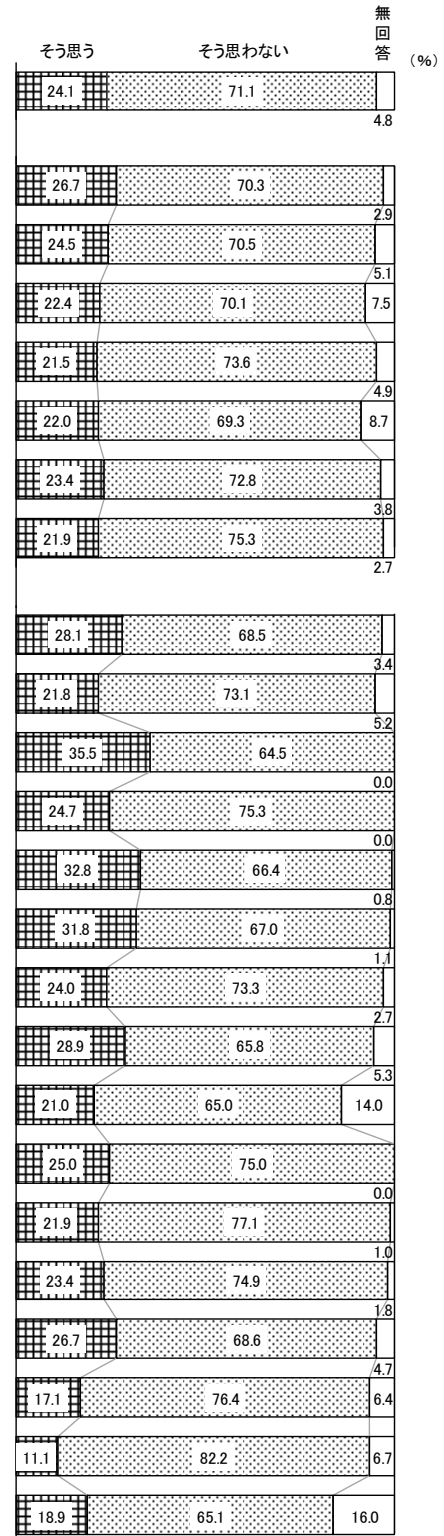


図表 2 (4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(23) 国際化が進む中で、外国のことをもっと深く知りたい



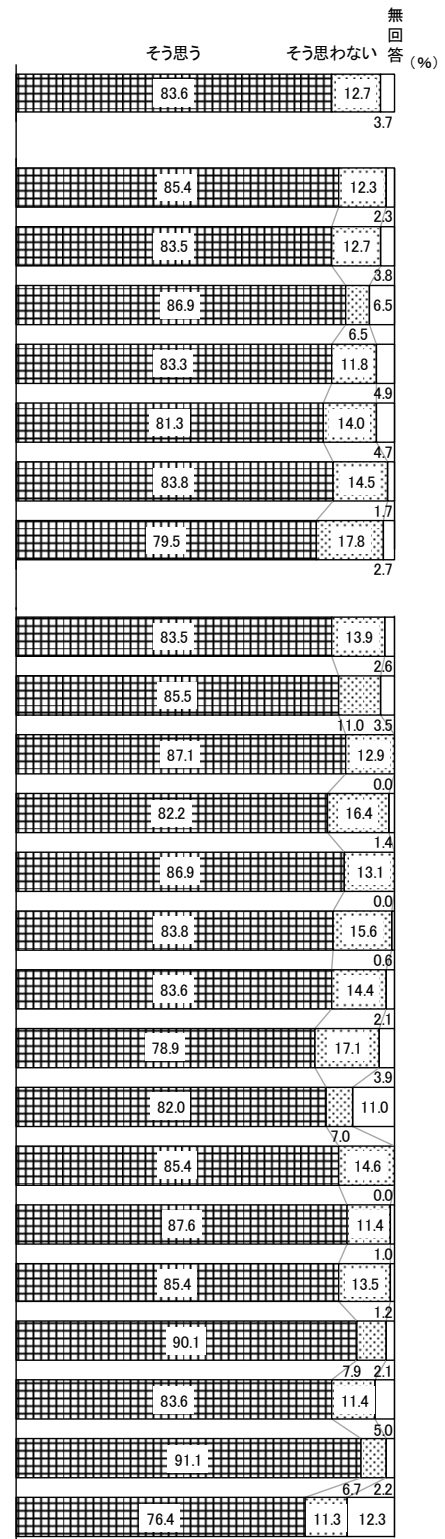
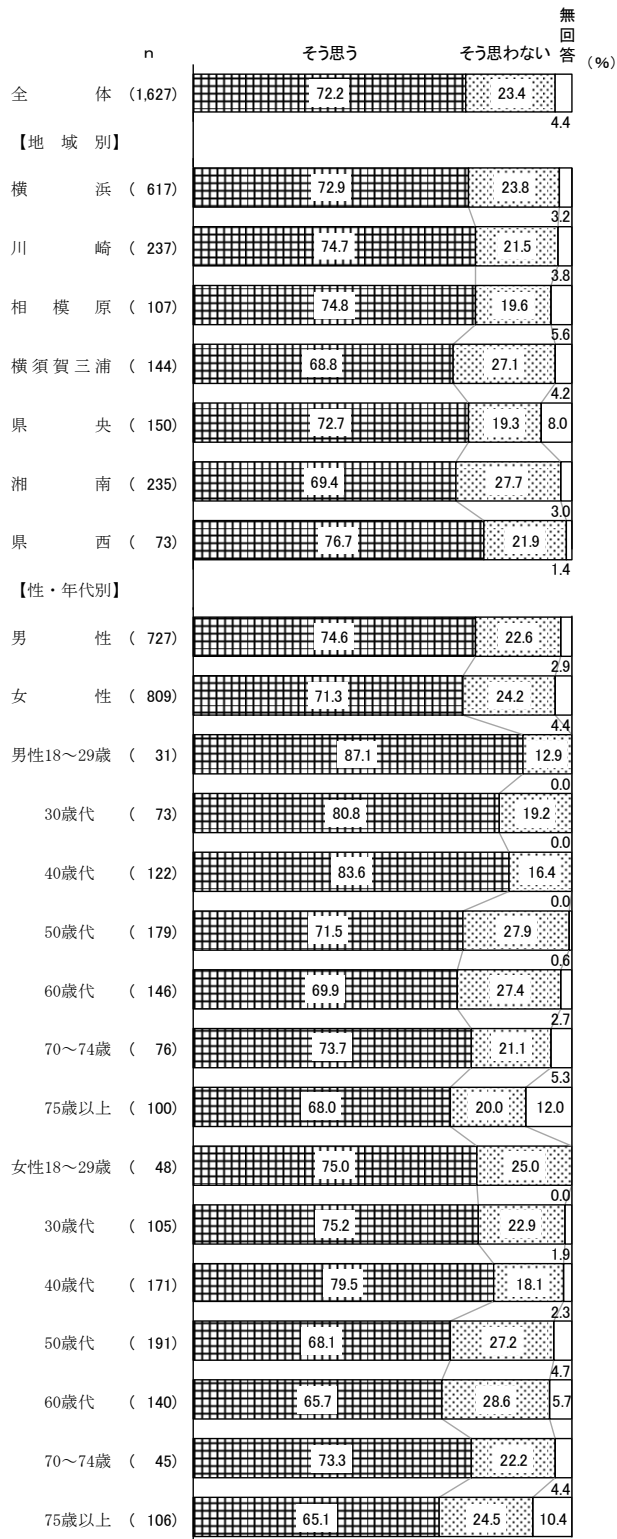
(24) 子ども・若者が自分自身の価値や存在感を実感できる世の中になっている



図表 2 (4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(25) 子ども・若者をめぐる昨今の問題は、
親や地域住民など大人の責任が大きい

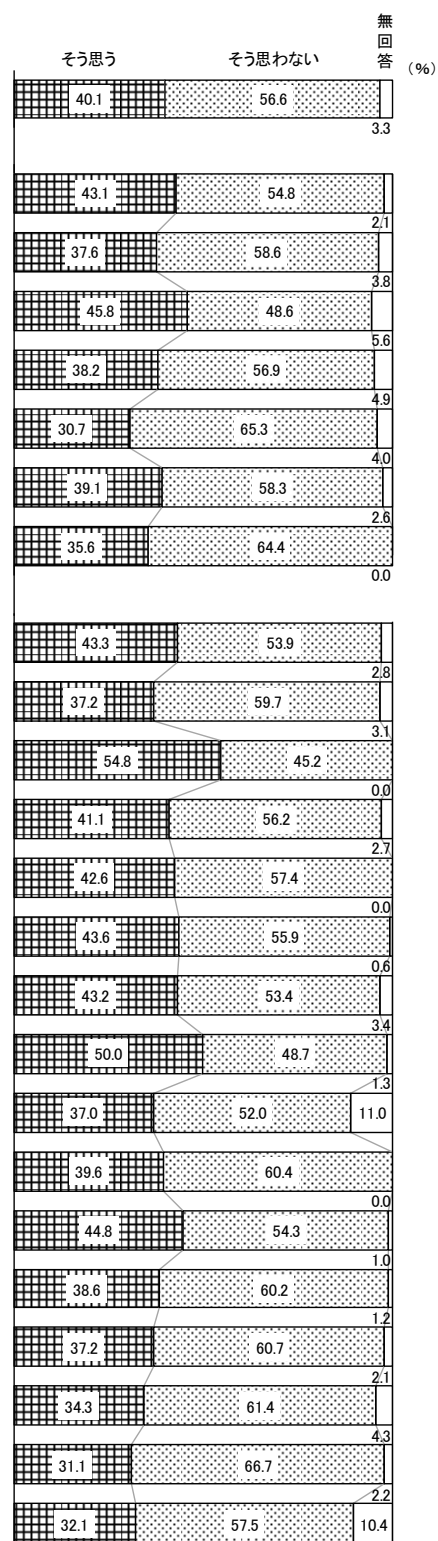
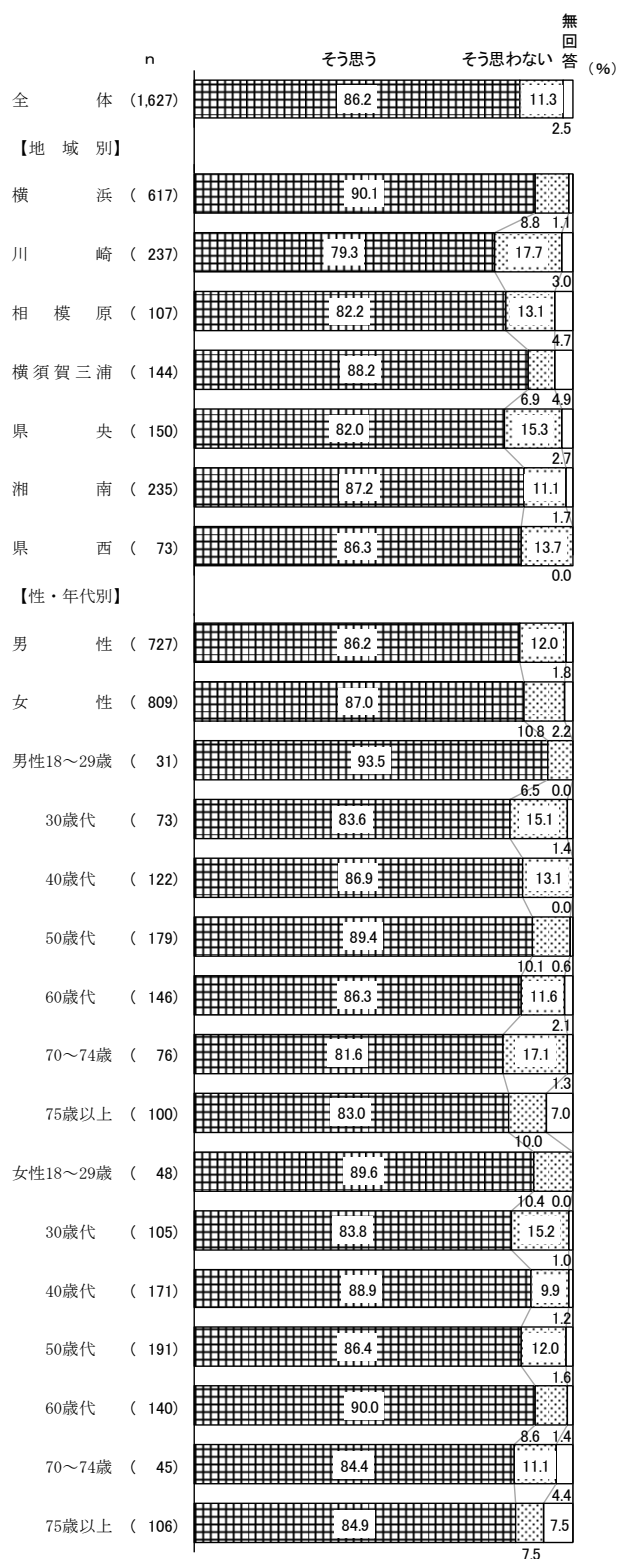
(26) 県産木材を使うことにより森林の
手入れが進み、身近な森林を守ること
につながるなら、積極的に使いたい



図表 2 (4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(27) 神奈川県は、歴史や文化、自然など、地域ごとに特色があり魅力的な県だ

(28) まちなみ、歴史的建造物の保全や公園づくりなど、まちづくり関係の活動に参加してみたい



図表 2 (4) 生活意識（地域別、性・年代別）（つづき）

(29) 県内では、交通渋滞が激しく自動車での移動が不便だ

(30) 今後 10 年くらいの間に、道路や公共交通網がさらに充実し、県内外への利便性がよくなっている

